

会長のページ 3 (三) について	河野 雅行	3
COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き (1月8日現在)	吉田 建世	4
日州医談 医師の働き方改革	池井 義彦	6
新春随想 (その2)		8
野間 健之, 大森 史彦, 長沼弘三郎, 井尻 裕司, 高田 慎吾, 坂田 師隣, 山口 和正, 伊藤 康司, 川井田 望, 坂田 師通, 永山 武章, 山村 善教, 小松 弘幸, 柏木 輝行, 新城 歌子, 飛松 正樹		
エコー・リレー (546)	野田 隆, 岩切美千代	23
メディアの目 コロナ禍で定着した ローカルニュースの「新たな伝え方」	井上 豊	24
宮崎大学医学部だより (医療人育成支援センター)	片岡 寛章	30
宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿 (医科)		35
診療メモ 子どものおもちゃと傷害予防	大平 智子	64
宮大医学部学生のページ 「ALL TSUNO」での学び	米良 大雅	66

ベストセラー	21
あなたできますか? (令和元年度医師国家試験問題より)	22
表彰・祝賀	25
宮崎県感染症発生動向	26
各郡市医師会だより	28
各種委員会 (医学賞選考委員会)	32
令和2年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会	33
臨時各郡市医師会長協議会	34
日医インターネットニュースから	36
医師国保組合だより	38
会員の異動・変更報告	40
理事会日誌	42
県医の動き	47
ドクターバンク情報	49
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
あとがき	72

お知らせ 医療勤務環境改善支援センター	31
国民年金基金のご案内	39
医療事故調査制度相談窓口	41
医師資格証を持ちましょう	46
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	48
日州医事へのご意見・ご感想	53
郡市医師会への送付文書	68
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	71

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

冬の青い池

2月の青い池のライトアップの風景です。このときは寒い中多くの観光客が来てました。この池が凍っていないときも青色の水です。天気が良いときはとても美しい風景を見ることができます。COVID-19が終息したらまた行きたい場所です。

やま じ たけし
都城市 山 路 健

会長のページ

3 (三) について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

月日の過ぎるのは早いもので、来月は令和3年3月です。直接の関係はありませんが、多くの事柄に3原則、3要素があります。古代の3種の神器（剣・鏡・勾玉）から始まり、昭和期の3種の神器（冷蔵庫・洗濯機・テレビ）、3C（カラーテレビ・クーラー・自動車）がありました。酷いのは1960年代の結婚の3条件（家付き・カー付き・ババ抜き）で、その後、時代とともに変化し、バブル期には3高（高身長・高学歴・高収入）が人気となりました。医療職にも3K（キツイ・汚い・危険）が言われ、最近ではコロナで3M（密）も欠かせません。社会生活が複雑化するに連れて3・・・もさまざまに変化するようですね。日本人は3・・・が馴染みやすいのでしょうか。色の3原色、音楽の3要素は授業で、歴史では御三家、御三卿、芸能界にも御三家が、各界に三役があります。朝昼晩の3食との関連なのでしょう。もっとも、我が国の中世までは2食であったそうです。競技で金銀銅、桃太郎や三蔵法師は3匹の家来、疾患でトリアスが、その他日本三景、三社参り、三・三・九度、三本締め等々と際限がありません。世界各国でも三銃士物語のように3・・・は多用されているのでしょうか？

聖徳太子は同時に10人の申し出を聞き分けたそうですが、普通の人間は3つの同時認識までは可能と言われています。もっともオーケストラの指揮者は瞬時に数十の楽器が聞き分けられるそうです。私も、音楽を聴きながら運転する。いつも愚妻に叱られますが、TVを観ながら新聞を読みながら食事をする。等々「ながら」であれば同時に2～3まではできます。

古来より社会生活においては衣・食・住が必要な3要素とされています。それに「医」を加えて衣（医）・食・住が真の3要素になると思われます。その医が昨今は当然のものとして有難みが薄れ少しおざなりになっていた感があります。今回のコロナ災禍によって医の重要性が再認識されました。しかし、緊急事態が去れば再び元に戻るかもしれません。考え方によっては医の重要視される社会は、本来は好ましくないのでしょうか。それでも、不定期に発生するパンデミック感染症、災害・緊急医療に備えるためには日頃より地域医療を充実させ、余力を蓄えておかなければなりません。「備えあれば憂いなし」の諺もあります。これは我々医療提供者のみでは無理で、政治・行政・関連者、特に地域住民とともに強固な体制を構築する必要があります。

未来には新たな3・・・が現れると思いますが、今は、3Mの心配のない社会に戻ることを祈るばかりです。

(令和3年1月12日)

COVID-19報告



新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（1月8日現在）

宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

新型コロナウイルス感染症は、前回報告（令和2年11月）以降も感染拡大が続いている。菅政権は、発足以降、国民には自助を求め、国としては経済重視政策を優先し、GO TOキャンペーンなどのアクセルを踏む方向に徹して、ブレーキを踏んでこなかった。12月21日には日本医師会が、『医療緊急事態宣言』を発令し、国や国民に感染拡大予防策の推進を要望した。宮崎県医師会も、河野会長が12月25日に看護協会とともに、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお願い」を県民に向けて記者発表を行った。しかし感染拡大は止まらず、国はようやくGO TOを12月28日から全国一時停止を発表し、アクセルを緩めたが、年末年始の人の動きを止められず、感染拡大地域からの地方への感染持ち込みが続いた。令和3年が明けると、予想されていた様に、全国で新規感染者数が最多を更新し続け、1月7日には全国で7,570人、宮崎県で105人を数えた。そのため同日に、国はようやく関東地区、1都3県に『緊急事態宣言』を発令した。しかし、全国一斉でなかったために、宮崎県は、同日に新型コロナウイルス感染症対策協議会を開催し、「本県の状況は、歴史的な危機に直面している」とし、宮崎県独自に『緊急事態宣言』を発令し、県民に向けて1月9日から22日までの行動要請を行った。できれば次回報告までに、県民全体が行動に注意して、感染が終息していくことを願っている状況である。

1月8日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 11月27日 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）
 - 11月30日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長、峰松理事）
 - 12月2日 県知事・県議会議員に対し「新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっている医療機関への財政支援に関する要望書」を提出（河野会長）
 - 12月25日 新型コロナウイルス感染症に関する医師会・看護協会共同記者会見（河野会長）
 - 1月7日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）
 - 1月7日 新型コロナウイルス感染症に関する県知事記者会見（河野会長）
 - 1月7日 臨時各郡市医師会長協議会
 - 1月8日 新型コロナウイルス感染症に関する行政・医療関係団体共同記者会見（河野会長）
- そのほか、常任理事協議会、全理事協議会、六役会等において協議を重ねている。

2 日本医師会からの情報収集

- 11月17日 都道府県医師会長協議会
- 11月27日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】
- 12月25日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

3 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

11月19日	FAXニュースNo.470 新型コロナウイルス感染症への対応について (41) ・特別警報の発令 ・宮崎市で集団感染の発生 ・発熱外来診療体制確保支援補助金の代理入力について
12月4日	FAXニュースNo.471 新型コロナウイルス感染症への対応について (42) ・感染拡大中、さらなる感染対策の徹底をお願いします ・支援金の申請締め切り間近！ぜひ補助上限額で申請を！
12月15日	FAXニュースNo.472 新型コロナウイルス感染症への対応について (43) ・日本医師会休業補償制度のご案内 ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4版 ・コロナ対策に関する県民向けのポスターについて ・人工呼吸器等消耗品の無償配布について12/18締切 ・年末年始の新型コロナウイルス感染症の検査体制等について
1月6日	FAXニュースNo.473 新型コロナウイルス感染症への対応について (44) ・本日新規感染者80名 ・医療機関内での感染を防ぐために 厳重な感染防止対策をお願いします

4 患者発生状況

1) 感染者数（11月15日～1月8日まで） 873名

※令和3年1月8日 13時現在

11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
1	1	10	3	10	15	14	5
11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30
6	10	9	19	7	7	12	10
12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
8	6	7	11	12	9	3	5
12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16
5	5	7	15	6	4	6	10
12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24
15	11	8	3	2	6	9	9
12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1
12	3	5	13	11	19	25	31
1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	
30	33	37	80	105	72	76	

【ご寄付・ご寄贈】

12月8日 ダンロップスポーツエンタープライズ様より
医療従事者への敬意と感謝の気持ちとして、ダンロップフェニックストーナメント参加選手によるサインのパネルをいただきました。心より感謝を申し上げます。

本会2階研修室前に掲示していますのでぜひご覧ください。



日州医談



医師の働き方改革

常任理事 いけ い よし ひこ
池 井 義 彦

2024年実施予定の「医師の働き方改革」の議論が進められています。医師の労働時間の上限規制に関して、医事法制・医療政策における措置を要する事項を中心に議論されている。具体的には、地域医療確保暫定特例水準と集中的技能向上水準に係る枠組み、医師労働時間短縮計画および評価機能に係る枠組みなどについて検討が行われ、医事法令において措置する事項などについて一定の結論（中間とりまとめ）がされた。

地域医療確保暫定特例水準は、地域医療提供体制の確保の観点からやむを得ず医療機関で診療に従事する勤務医の時間外労働の上限水準（以下「A水準」という。）を超えざるを得ない場合の水準である。その観点から必須とされる機能を有する医療機関を指定する。

前回報告書（平成31年3月28日）において、地域医療確保暫定特例水準の対象として具体的に想定されたのは、医療機関が必須とされる機能を果たすために、当該医療機関内の業務によりA水準を超えざるを得ない場合（当該医療機関における時間外・休日労働が年960時間を超えざるを得ない場合）であり、この場合に適応される水準として時間外・休日労働の上限を年

1,860時間とする水準（以下「B水準」という。）を設け、医療機関を指定して適応することとされた。

一方、「医師の働き方改革の地域医療への影響に関する調査」および「令和元年の医師の勤務実態調査」の結果から、大学病院などの常勤勤務医の一定数は、主たる勤務先における時間外・休日労働は年960時間以内であるが、副業・兼業先での労働時間を通算すると、時間外・休日労働が年960時間を超過している実態が示された。前回報告書に基づけば、これらの医師は、主たる勤務先においてA水準が適応され、副業・兼業先での労働時間を通算した時間外・休日労働が年960時間に達した際は、それ以降、いずれの医療機関においても時間外・休日労働を行えないこととなる。副業・兼業についても、地域全体での医療提供体制の確保の観点から必須とされるものがあることから、地域医療確保暫定水準の中に、副業・兼業先での労働時間と通算して時間外・休日労働の上限を年1,860時間とする水準（以下「連携B水準」という。）を設け、医師の派遣を通じて、地域医療の提供体制を確保するために必要な役割を担う医療機関を指定して適応することになった。

こうした医療機関内および地域医療提供体制の双方の状況をふまえ、適切に都道府県が指定を行える枠組みとなっているか、という視点から、地域医療確保暫定特例水準（B・連携B水準）の対象医療機関の指定要件が整理された。（指定要件の詳細は今回省略）

また、集中的技能向上水準（C水準）は、一定の期間集中的に技術向上のための診療を必要とする医師向けの水準であり、C-1水準とC-2水準に分類される。これも、対象医療機関の指定要件が整理された。（指定要件の詳細は今回省略）

いずれの医療機関においてもA水準が適応されている医師については、勤務する事業場での労働時間を通算して、時間外・休日労働の上限は年960時間となる。また、医療機関においてB・連携B・C水準が適応されている医師については、勤務するすべての事業場での労働時間を通算して、時間外・休日労働の上限は年1,860時間となる。ただし、当該医師の各医療機関における通算しない時間外・休日労働の上限は、各医療機関が36協定において定める時間であり、A水準または連携B水準が適応される医師を雇用する医療機関が当該医師に関して36協定において定めることができる時間外・休日労働の上限は年960時間以下となる。

医師を派遣している医療機関は、地域医療提供体制への影響に配慮しながら医師の労働時間の短縮に取り組むべきであり、特に、連携B水準の対象医療機関がA水準の対象医療機関に移行を目指す場合においては、医師の派遣を受けている医療機関が地域において果たしている役

割などに十分留意すべきである。また、各地域において、派遣先の医療機関が、医師派遣の縮小により診療体制の維持が困難となるような場合に、地域医療支援センターや医療勤務環境改善支援センターなどに報告・相談し、各センターが対策を講じる仕組みを設けることも今後必要だと考える。

医師の労働時間短縮・健康確保と地域の医療提供体制の両立を実現するため、更なる検討が必要であり、地域医療構想の推進や医師の偏在対策などの医療提供体制改革が医師の労働時間に与える影響、逆に医師の働き方改革が医療提供体制に与える影響の双方を慎重に注視しつつ、取組みを進めていくことが必要である。

新型コロナウイルス感染症が流行している中、昼夜奮闘している医師がいる。感染症の蔓延時でも、医師の健康確保と医療提供体制の確保の両立が果たせる社会の実現を目指して、更なる制度設計に関する議論の継続が必要であると考える。

（詳細な内容をご覧になりたい場合、下記資料をご覧ください）

参考資料

第11回医師の働き方改革の推進に関する検討会
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15438.html

新春随想

その2

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

2021年を迎えて

宮崎市 医療法人野間内科クリニック の ま けん じ
野 間 健 之

1961年(昭和36年)丑年生まれの私たちにとって今年特別な丑年で、皆揃って還暦を迎える。今後は年を経るごとに周りからの認識が少しずつおじさんからお爺さんへ変わっていくのだろう。これまでたくさんの人の還暦祝いに出席したが、どのような思いで祝福を受けていたのだろうか。晩婚だった私にはまだ孫はいない。孫がいれば諦めもつくし、孫から呼ばれるおじいちゃんは嬉しい響きであろうが、今後、お爺さんと呼称されたら、さぞかし悲しい思いになるであろう。定期通院している患者さんに小学生時からの同級生がいるが、公務員である彼には還暦を迎えることによって定年という人生の大きな節目がついてくる。

現状は健康寿命が延びているために当てはまらないが、本来還暦の意味するものは、もう十分働きました。もう年です。仕事は若い人に譲りなさいの意味だったと勝手に推測する。

私の周りにはすでに病死した数人の同級生がいて、脳裏に刻まれた中学生時の元気な姿がおぼろげに蘇り、同級生が現世に存在しないことの不思議さと同時に長いときの経過を感じる。開業7年目になるが、15年間在籍した宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝内科から派遣された

市中病院で学んだ理想の開業医像は、病気を見逃さないこと、ガイドラインに沿ったupdateな治療、それに待ち時間の短さだと思う。病気を見逃さないために自信のない分野、例えば胸写の読影は放射線科医に、腹部超音波は技師に依頼している。updateな治療のために各科から出され、更新される治療ガイドラインをチェックし、診療時間の短縮にはカルテ入力、処方看は看護師に任せて、最後にチェックしている。51歳時に大病を患い、身体は一部不自由になったが、それまで十分に楽しんだし、今の日常には満足している。

還暦を迎えたこれからの人生はこれまで以上に日々を大切に過ごそうと考えている。



タルトタタン

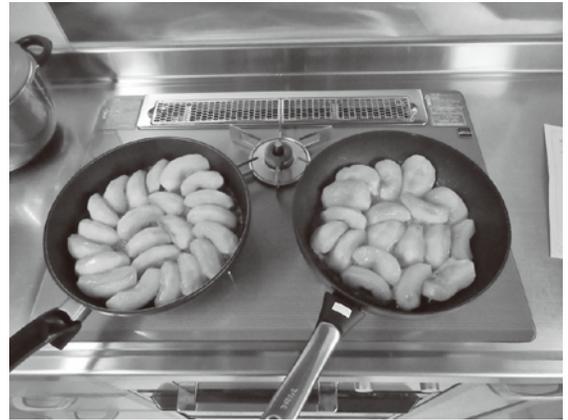
高鍋町 大森内科医院 おおもりふみひこ
大森史彦

以前我が家の恒例行事、春の味噌造りについて書きましたが、実は暮れにも恒例のことがあります。お菓子のタルトタタン作りです。

暮れ近くなると青森と山梨に住む友人から美味しいリンゴが送られてきます。そのままが一番美味しいのですが、あまりにたくさんになるのでタルトタタンを作ることとしました。まず、底に敷くパイ生地を作り一晩休ませます。翌日は仕上がりまで大忙しです。大量のリンゴの皮をむき、フライパン二つを使い砂糖、バターでソテーします。リンゴを焦がさないように、煮崩れしないよう火力を調整しながら時間をかけてしっかりとした飴色になるまで焼いていきます。ここが一番時間がかかりますし、神経も使います。このときは焼きリンゴの香りが出来上がりを思い起こさせます。次にソテーが終わったリンゴを型に並べてオーブンで1時間焼きます。ここでも表面が焦げないように細心の注意がいらいます。オーブンの前につきっきりです。これが終わると粗熱を取りパイ生地を上にものせてもう一度オーブンで焼きます。これで終了ですが、すぐには食べられません。冷蔵庫で一晩冷やした後、型から外します。リンゴの煮汁が固まってキャラメルのようにになっていますから、せっかくの形が崩れないようそうっと外していきます。タルトタタンはなかなかお店でも売っていませんから食べる機会は少なく、家族にも好評です。

京都にタルトタタンで有名なお店があり学会で出かけた際寄ってみました。お店が開く前から並び一番で入店し温かいのと冷たいのを両方

堪能しました。我が家のは焼き色こそ職人さんのタタンに及びませんでしたが、美味しさは負けていないと感じました。リンゴを濃い飴色にするには相当な努力が必要で毎年挑戦するのですが、いつも今一步かな。この後学会に行ったのですが、わずかな時間しか出席できなかったもので、妻には「今回の出張はタルトタタン学会ね」と揶揄されました。



さるく

延岡市 長沼医院 ^{なが}長 ^{ぬま}沼 ^{こうぞぶろう}弘三郎

夏真っ盛りのある日。これまでちょっと立ち寄ってみたいと思っていた地を、一日のうちに2か所訪れた。

まず田の神様（たのかんさあ）参りだ。五穀豊穡、子孫繁栄を祈って江戸末期に旧島津藩領の田んぼの脇に置かれた手作りの石像で、袖の長い衣を着て頭にはミキ（被り物）をいただき、手にはめしげ、反対の手には梶を持っている。案内書を片手に、遠く祁答院、菱刈、えびのの農道に車を乗り入れた。祁答院のそれはつたの葉にまとわれおうな姫のたたずまい。菱刈のそれは神主姿で、えびの（末永）のそれは小屋掛けに祀られ、顔の隈取りに目が奪われた。えびの（原田）のそれは翁と姫の二体で、はっきり暖かった。いずれもペイントで彩られ、そこだけ稲葉から浮かんで一幅の絵だった。

あちこち走り回り、帰りは一般道を通ったが、西都の戸敷で「寒川」^{さぶかわ}の掲示を目にした。13年前、映画「寒川」を見たが、ここがその部落に通じる入口だった。寒川は標高300m、前川左岸の山中の部落で400年の歴史があり、最盛期には50世帯250名が居住し、お茶、しいたけ、炭焼きを業に生活していた。過疎で1989年（平成元年）3月宮崎県では初めて無人の村となり廃れた。

日暮れにまだ間があったので集落に向かった。天徳寺から6km走って吐合橋の三差路に着いた。その先は急坂と曲り道で足での上り。谷のせせらぎ、鳥のさえずり、蝉しぐれに包まれ、土砂崩れや倒木に行く手をはばまれた坂道を、乗り越えくぐりぬけ進むこと40分で、忽然

と薄暗い木々の中に多くの石壁に囲まれ朽ちた集落跡に着いた。神社、家屋は打ち捨てられ、苔むした石段の先の寒川小中学校の木造校舎はやっと倒壊を免れ、校歌の掲示板と記念像などが残っているに過ぎなかった。ひるがえれば、この前まで「目の先のここに学校があったのだ」。回りの屋敷跡に焼き物、ガラス瓶、瓦の破片と、散らばった古本や新聞紙に混ざってゴルフのキャディバッグが目についた。ここにも外の世界に夢を抱いた若者がいたのか。

夕暮れが近づき追われるように荒んだ道を下ったが、“千と千尋の神隠し”の異界がだぶって見えた。さるき回って思ったこと。開院して40年、我が事ながら、“田の神さあ”のように年ごとに建物に色が塗り重ねられようと、寒川小中学校のように荒れるに任せられようと、いずれにしる自分の施設もいつかは「ここに診療所があった」と云われるときが来るのだ。“田の神さあ”と校門にきつと立っていた草むした犬の石膏像が、人の営みの行く末は“そうしたものだ”と物語っているように見えた。

“Out of sight, Out of mind”



ためになるけど少し苦しい Web学会参加

えびの市 井尻眼科医院 井 尻 裕 司

新型コロナウイルスの感染拡大にともないさまざまな生活様式が一変したが、その中の1つに全国規模の学会への参加様式の変化がある。感染拡大防止のためには、学会のような全国から人が集まる密な集会は不可であるし、会場のある感染者の多い首都圏への移動も自重される。今までなら全国規模の学会参加ともなれば、まずは宿泊や飛行機などの交通機関をネットで比較しながら事前予約し、職員には参加予定を伝達、院内には患者さんにむけて出張休診を掲示し、極力軽快な服装（理由は後ほど）と最小限の荷物を準備。出張当日も残念ながら余裕を持って参加できる状況ではないので、出発時間ギリギリまで外来を行い、乗り遅れをヒヤヒヤしながら車のハンドルを握り、やっと間に合ってギリギリで機内に滑り込み安堵することがほとんどであった。また最近の全国学会は、たくさん勉強できて本当に有難いことではあるが、極めて多数の本講演の他にも、朝からモーニング、昼にはランチョン、夕方にはイブニングセミナーと、朝7時から夜8時過ぎまで学会会場に釘付けされることになり、せっかく首都圏に行っても結局は弁当三昧の食生活で、華やぐ街には全くほど遠い生活であった。しかしWeb学会参加ともなれば、そもそも出張する必要がない。出かける準備も必要ない。有難いことに外来休診の必要もない。出張旅費もかからない。また最近の大きな学会は、上記のように内容が極めて盛りだくさんとなり、多数の講演会場で並列して同時にいくつもの演題が発表さ

れるので、聴講したい講演が被ってしまっても、基本的に同時刻には1つの演題しか聴講できない欠点があった。しかも各会場の座席数は限られているので、着席して聴講したければ、事前に綿密な移動スケジュールをたてて、冬でも軽装にして汗だくになりながら、荷物を抱えて広い学会会場を駆けずり回ることになる。素早い移動のために頻繁に行われる階段の昇り降りは確かによい運動にはなるが結局疲れてしまい、座れた椅子で気持ちよくうたた寝してせっかくの講演を聞き逃す失態もあった。でもWebとなれば聞きたい演題は努力次第ですべて聴講できるはず。11月にWeb開催された日本臨床眼科学会は今までにないほど充実した学会参加となり大変勉強になった。しかしよいことばかりではない。当然日常診療は休めないもので、Web聴講は夜間や土日に時間を捻出する必要がある。しかし、これらの時間は普段から書類作成やカルテ整理などの病院業務や私用で使用していた時間であり、Web聴講にさける自由な時間など元々少ないことに初めて気づいた。聴講したい演題はたくさんあり、重要な講演は繰り返し聴講したいので、結局は睡眠時間を削り、更に隙間時間を活用し、さながらインターネット中毒のような生活を繰り返すことになった。これでも1か月の開催期間中に捻出できた視聴時間は50時間ほどであり、意気込んでいた割には聴講できなかった講座もあり甚だ情けない結果となった。次回は同じ失敗を繰り返さないように工夫したい。

お正月

宮崎市 このはな生協クリニック ^{たか}高 ^だ田 ^{しん}慎 ^ご吾

私は稲作の北限地域で育った。例年12月になると道路に降った雪が溶けることなく積もり道路をおおったままになる。その状態の雪は「根雪（ねゆき）」と呼ばれる。

お正月は白の世界。雪が降っていても氷点下5度くらいなら「暖かくていい正月ですね」とあいさつする。氷点下10度以下は「しばれるね」と交わされる。昭和30年代の家の窓は二重でも暖かいのはストーブの周りだけだった。うんとしばれる日（氷点下20度以下）には、食物を凍らないように冷蔵庫に保管した（冷蔵庫が保温箱に変身）。

毎年、年末にたくさんの鏡餅や切り餅を本家で作った。餅つきの日には真っ暗なうちから起こされて本家に連れて行かれた。大人たちは餅米を炊いて、加勢の大人を頼んで臼と杵で餅つきが行われた。つきたての餅を納豆で食べるのが楽しみだった。よもぎ、豆、ごま、あんこが入った餅も作られた。大小十数個の鏡餅と切り餅がたくさん作られた。切り餅は常時冷下の物置に置かれ、3月のはじめごろまでおやつになった。

我が家のお雑煮は味噌味のおじやにタケノコ、椎茸、にんじん、里芋、鶏肉、なるとと焼いたお餅が入っていた。明治初期に徳島から移り住んだ父方のしきたりで、北海道では珍しかった。

元旦は分家と本家に年始の挨拶に出かけるのが恒例であった。行った先々でその家で作られたおせちがだされたが、珍しい洋菓子が楽しみであった。

分家には木の札に書かれた百人一首がありお

ばあちゃんが読んでくれた。また酔ったおじさんたちがアコーディオンやクラリネットを演奏することもあった。本家には売り出されたばかりのカラーテレビがあり、大きな楽しみだった。目を閉じると半世紀以上前のそのときの光景がまぶたの裏に映し出される。

今や故郷のお正月は更地に雪が積もるだけである。



伝 統

高鍋町 愛生堂坂田病院 ^{さか}坂 ^た田 ^{もろ}師 ^{さと}隣

我家では、毎年11月12日に氏神祭を行います。当日は、早朝より神社の宮司様が当家に来られ、客間・氏神様・中央神様の祠・水神様・台所に神詞を奏上されます。宮司様を迎えるため、客間・祠・台所の清掃と大忙しです。私は、この氏神祭を面倒で迷惑な祭りだと感じていました。しかし、本祭は、我家の伝統であり仕来りです。

伝統といえば、以前「屋根の上のヴァイオリン弾き」というミュージカル映画を観ました。この映画は、イスラエル建国前にロシアに住み、ロシア人の迫害を受けながら生活しているユダヤ人一家の話です。この中に「tradition」

という題名の曲があり、ユダヤ人の伝統、仕来りを守ることが大切であると歌っています。

私たち、日本人も伝統・仕来りの中で生活しています。例えば、スポーツにも伝統校・伝統の襷、その他伝統工芸・伝統の祭りお囃子・伝統技術などさまざまあります。

2020年は、新型コロナの影響で、日本全国、伝統行事の中止・縮小が多かったようです。私たち高鍋町の医師会も毎月「やぶ会」の名称の飲食会を催しています。この会も2020年3月で544回を数え、これも我々の伝統だと思っています。しかし3月まででその後休止しています。「やぶ会」は飲食会ですが、町内の医師の情報交換・その他意思決定など、非常に有用な会です。コロナが収束した際には、再び会が従来どおり開催されることを期待しています。

面倒な伝統・仕来りも継続することが我々の生活にとって重要な役割を担っていると感じた2020年でした。

木漏れ日

日南市 愛泉会日南病院 やま ぐち かず まさ
山 口 和 正

県立美術館で開催された「美の旅 西洋絵画400年」はなかなか見応えがありました。そこにセザンヌやモネなどお馴染みの画家と並んで、ル・シダネルの「森の小憩」という、私の知らない作者の絵が飾ってありました。食べかけのパンや飲み物が並んだ敷物が森の中に描かれ、マネの「草上の昼食」から男女が抜け出していったような情景です。緑の森の中に差し込

む光が地面を照らし、「木漏れ日」という題名が似合いそう。

西洋絵画で木漏れ日が描かれるのは割と珍しく、ルノワールが木漏れ日のあたる裸婦を描いた時「腐った肉のようだ」と酷評されたのは有名な話です（その後「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」で見事リベンジ）。そもそも木漏れ日に相当する言葉が欧米にはないそうで、わび・さびなどととも「外国語にもほしい日本語」に挙げられています。

該当する英語としてsunbeamがありますが、ちょっとイメージが違う。確かに映画「羅生門」の木漏れ日はbeamという感じでざらざらと照り付け、人を不穏な激情に駆らせるインパクトがあります。しかし日本語の木漏れ日のイメージはもっと柔らかで優しい日差しです。新海誠の「君の名は。」や「天気の子」では木漏れ日の美しい描写が評判になりました。宮崎駿が風と雲を熱心に表現しようとしているのと対照的です。いずれも精緻な自然描写が非常に魅力的で、きわめて日本的な情感のアニメを作り出すのに一役買っており、絵の表現も言葉とともにあるのを実感します。

重度障害で、フラットな脳波、MRIは脳室拡大で中央には巨大な闇、脳実質は萎縮して周辺に追いやられ、とても人間的な脳活動があるようには見えない子がいます。だけど車いすで砂利道を行けばニタ〜と笑うし、ほっぺたに光が当たると心地良さそうな表情を見せることもあります。そんな光には木漏れ日という言葉が良く似合います。

木漏れ日の 揺れてカタコト車いす

頬にとまって笑みとなる午後

走る愉しみ

日向市 医療法人誠和会和田病院 伊藤 康 司

十代で自動二輪免許を取得したのち、途中ブランクはあったものの、バイクに乗って出かけることが私の長年の楽しみだ。これまで北海道や信州、もちろん九州など日本各地の道を走ってきた。愛知県在住であった私が縁あって5年前から日向で仕事をさせていただくことになり、ホームグラウンドは九州となった。ライダーの聖地とも呼ばれる阿蘇・九重になんと日帰りで行けるのである。

ある秋の日、真っ青な空にはわずかな雲と輝く太陽。今日は出かけようと決めた。私の一番お気に入り、別府から湯布院、それから飯田高原、長者原、牧ノ戸峠、瀬の本、一の宮、高森、高千穂のコース。由布岳や阿蘇山の雄大な景観、緑から茶色へと色を変えつつある草原の景色、心地よい高原の風が普段の仕事を忘れさせてくれる時間である。自然と一体となり走ることの喜びを感じ、「最高」と独り言をつぶやきながら道のりは進んでいく。家に戻るのは夕方。軽い疲労感と十分な満足感で一日を終えることができた。行きたいと思えばすぐにこんな素晴らしいルートにバイクで出かけられるのは本当に幸せだ。

一方、バイクはやはり危険な乗り物であることは忘れてはならない。私はツーリングに出かけるときに自ら確認する。事故にあわない、バイクを倒さないようにと。バイク事故は命にかかわったり、後遺症の残る傷害をとまなうことが多い。スピードの出しすぎや周囲への注意散漫はあってはならない。次に転倒、たとえ止まった状態でこけてしまっても300キロあるバイ

クを一人で起こすことは容易ではなく、傾斜でもあれば不可能と考えなければならない。人気のない山道であればどうしようもなくなってしまふのである。

これからも安全に注意しながら充実したバイクライフを送りたいと考えている。夏は山に、冬になって寒くなれば雪のない南へ向かおうか。いろいろ楽しませてくれる九州の道である。

父 親

高原町 川井田医院 川井田 望

私の父は一般外科医だ。このように言うと誤解を招くかもしれないが、ひと昔前の外科医は現在のように各臓器に細分化されておらず、胸腹部から整形外科、しいては脳外科領域の手術も経験していたらしい。父が開業して当初は全身麻酔下手術もしていたが、そのような父も、もうメスをおいて久しい。だが、父の性分だろうか、基本的に時間外だろうが専門外だろうが、断ることはほとんどしない。(いいか悪いかは別として) そのような父を見て学生時代を過ごし、初期臨床研修が修了を迎えようとしたときに、自分は何科に進もうか非常に悩んだ。不思議と父から何科がいいと勧められることはなかった。父は外科医だから当初は消化器外科か消化器内科を考えていたが、どんな患者でも診る父を思い出したときにgeneralistが田舎のニーズに合っているのではないかと考えるようになった。田舎でも近隣には消化器、整形、循環器、脳外科などは一通りある。しかし地域の

患者は骨折してても、麻痺があっても父のところに来る方も多し。そのような状況から、当初は全く考えていなかった救急医の門をたたい。だが現実は厳しく、私が救急医になったときは、よく『救急医なんて受けるだけ受けて何もできないじゃない』と言われたものだった。確かに一人では限られたことしかできない。しかし救急医はあらゆる分野の危機察知能力に長け、どの科にも顔が利く。だから私はすべての分野で専門になる必要はない、ただどの分野においても二番手になろうと鍛錬してきたつもりだ。そのような私も救急の第一線を離れ父とともに仕事をしている。今でも勉強会や研究会に足しげくかよっている父を見ると、何科に行くのが重要だったのではなく、何科に行ったとしても医師は生涯こうであるべき、という姿を見せてくれているのかもしれない。



丑年はいいヤツが生まれる

高鍋町 愛生堂坂田病院 さか た もろ みち
坂 田 師 通

約20年前の父が亡くなった直後、高鍋町の名誉町民であられた尾崎一男先生と何度か、お話をさせていただく機会がありました。先生は私の母方の祖父と親交があったのですが、祖父が

明治34年生まれの丑年で、先生自身が大正2年生まれの丑年で、亡くなった父が大正14年生まれの丑年であることから、「丑年はいいヤツが生まれるのだよ」と楽しそうにおっしゃったことを最近のように憶えています。今から思うと、父が亡くなったばかりで父の代わりに出席しなければならなくなった会合で、緊張している私を励ます偉人の超一流の優しさの表現だったように思えます。

私は昭和35年生まれの子年ですが、同級生には丑年生まれ仲間もいます。西都市出身で長嶋茂雄さんと同じ誕生日の早逝したA君は、私が宮崎に戻ってきた日に電話をくれて、その後同級生の会にいつも誘ってくれました。母校日向学院の体育の先生の息子さんで、遠くに住んでいるけれど時々連絡をくれるA君、そして熱血教頭先生として県立高校で活躍している親友のG君と頭に浮かぶだけでも、丑年生まれ同級生は確かにいいヤツばかりです。

私の所属する児湯医師会でも亡くなった野津手晴男先生（昭和12年生）も高橋政見先生（昭和24年生）も丑年の素晴らしい方々で、大変お世話になりました。現在のメンバーの中でも、晴男先生の長男である大輔先生、僧侶と医師の二足の草鞋の高鍋のスーパースター栗田正弘先生、川南の糸井仁先生と医者として優秀だけでなく人としても尊敬できる方々は、皆丑年生まれです。

令和3年は丑年。おそらく、これからの日本を支えるいいヤツがたくさん生まれる年だと信じています。蛇足ですが、私の妻も丑年生まれです。

日 記

宮崎市 ながやま小児科アレルギークリニック なが やま たけ のり
永 山 武 章

年男ということで執筆依頼があったので、日記よりいくつか抜粋し投稿します。

令和2年(2020年)2月20日(木曜)

出勤 午前8時15分、午前11時に外来より帰宅。健診はない。(乳児は生後3か月、7～8か月、1才時に健診を受けることになっている。長男 章一郎が院長になってから、外来では健診のみを担当している)。妻 百合子は「体調はよい」と頷いてくれた。マッサージを受けていたが、午後4時ごろに終了した。午後4時30分ごろはまだ眠っている。午後8時ごろには2階にあがり(当時2階は寝室)、睡眠にはいる。

2月22日(土曜)

外来は休日である。朝寝した。外は真暗、午前8時10分朝食終了。

2月23日(日曜)

今日も休み。はや歳月の過ぎゆくを実感する。午前8時35分朝食終了。明日も休日。振替休日となる(=贅沢な休日)。

4月15日(水曜)

妻 百合子は救急車で医師会病院に入院。

4月17日(金曜)

妻 百合子に見舞面会できない。許可されない。私自身、外来に出勤もしない。自宅で1人で過ごす。(後で許可された。)

4月28日(火曜)

妻 百合子 4月21日午後 死亡

病名 肝硬変症(合併症 肺水腫, 心不全)

5月2日(土曜)

百合子のフォト(小型)をテーブルの前に置く。百合子を携帯でみる。何度もみる。「百合子の遺骨器の中に俺のも一緒にに入れて納めてもらおうよ」。百合子の霊にむかい、そのように脳で話し語る。

6月8日(月曜)

朝食終了8時。外来出勤しない。高齢(95才)ゆえに勤務しないで自宅で過ごす。テレビで終日過ごす。当夜のTV「心のうた」を期待する。16時現在少し頭重、頭痛感あり、体調よくない。入浴したがやはり「体調」よくない。

6月15日(月曜)

朝食終了8時15分。野菜ジュースを14時に飲んだ。少し残したのを15時に飲む。夕方17時30分、夕食はお手伝いさんが作り中である。当夜のTVも「心のうた」BS4で19時よりあり期待する。16日午前2時に、シャツ脱ぎ替える(汗ぬれ)。ポカリスエットを飲んだ。

『死期はついでを待たず。死は前よりしも来たらず、かねて後ろに迫れり。人皆死ある事を知りて待つこと、しかも急ならざるに覚えずして来たる。沖の干潟遥かなれども、磯より潮の満つるがごとし。』徒然草より

イエローカード

宮崎市 山村内科 ^{やま}山 ^{むら}村 ^{よし}善 ^{のり}教

昨年は新型コロナウイルス感染症に右往左往させられ、すっかりライフスタイルを変えさせられてしまった。今年がいかなる年になるのかは、どなたかが宣われたごとく、『神のみぞ知る』であろう。一つ確かなことは、私のパソコンを使いこなす能力はコロナ禍の真ただ中の娑婆では通用しないということ。それを思い知らされたのは、10月に医療従事者への慰労金の申請を試みたときである。ご存じの方も多と思うが、申請方法は電子メール、CD-Rもしくは紙での申請という三択であったが、まず電子メールでの申請にチャレンジした。ところが、当院のデータを書き込むためのエクセルの保護の解除にパスワードを要求されたり、時間の関係で一時的に保護しておこうとしたら、保護した場所が行方不明になったりで行き詰まり、思い余ってコールセンターに電話をして教を乞うたが、当方の理解力不足のために締め切り時間の午後6時となり、先方から「このまま続けますか？」とお言葉。気の弱い当方、まったく自信もないのに「あとは自分でやってみます」と答えて電話を切ったものの敢えなく玉砕。翌日、また一人でやり直そうとチャレンジしたが、結局、電子メール申請からは撤退。では第二選択でいこうとCD-Rへのコピーを試みるが、これもうまくいかず、パソコンを独学で学んだというスタッフに手伝ってもらってようやく完了。残念なことに、11月の感染拡大防止

の支援金申請の際にもスタッフに応援してもらった。

出来上がった支援金申請のCD-Rを国保連合会事務局に持参したら、「データが入っているか確認しますのでしばらくお待ちください。データが入っていないCD-Rを持参されることがありますので」とのこと。もしかしたら同じ世代の方が持参されたのかなと思ってもみた。今後は、初耳のHER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム）やらG-MIS（新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム）で受診者数などの報告をしなければならぬようだが、先が思いやられる。

新型コロナウイルスはパソコンを自在に使いこなせない自分に退場を迫るイエローカードを提示したように思われる。いよいよレッドカードが出る日も迫っているようだ。

迫りくる 退場の日 は 目前に

コロナなんかに 負けてたまるか



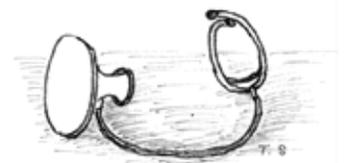
「年男」をきっかけに 次の12年間を考えてみた

宮崎市 宮崎大学医学部 小 松 弘 幸

「あなたは今年、年男ですから」と、この新春随想の寄稿依頼が届いた。コロナ禍で世界中が揺れ動く中、今年で48歳を迎える。5年前、宮崎大学医学部に新設された卒前・卒後一貫での医学教育と医師養成を使命とする医療人育成支援センターの教授職を拝命した。この間、教務委員会と医学部教育カリキュラムの改革に取り組み、卒後臨床研修センター長として臨床研修の内容充実にも努め、新専門医制度へのキャリア接続環境の整備を行ってきた。3年前からは宮崎県地域医療支援機構大学分室を立ち上げ、地域枠入学学生のキャリア形成にも関わり始めた。共用試験機構や医学教育学会などでの全国的な仕事も増えてきた。腎臓内科医としてはIgA腎症診療ガイドラインの作成担当を通じて臨床医学と最低限のつながりを維持できた。人生の中でも特にこの5年間は毎日を生きることに必死で、一時体調も崩したが何とかここまで生き延びた感じである（笑）。さて、これから先どうあるべきか…。

昨年11月、福原俊一教授の退官記念講演会も兼ねた京都大学医療疫学分野創立20周年記念式典にWeb参加した。私が大学院4年生だった2004年に1週間の合宿研修「腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾」でご指導いただい

たご縁だが、このときの福原先生との出会いが私に臨床研究への道を開いてくれた。全国で活躍する数百名の臨床研究医を育てた先生は講演で、「学問的には大した事はできなかったが、約300年前から滔々と流れる大河のような近代医学の精神と知の蓄積、そのほんの一部でも先人達から受け取り、次の世代に何とかお渡ししてきたかもしれない」と述べられた。国際一流誌に数百本の原著論文を送り出した先生からの医学に対する謙虚なお言葉に心が震えた。私も次の年男までに「先人の知見と願いを受け取り、次の世代に伝える者」としての役割を少しでも果たせるような仕事をしたい。



都城市消防団第2分団第6部

都城市 橋病院 かしわ 柏 ぎ 木 てる 輝 ゆき 行

骨髓バンクのドナー登録が55歳で卒業となったら、消防団に入ろうと考えていました。日本のさまざまな災害を目にして、いつか、地元の私設防災チームを作ろうと考えました。でもどのように組織したらいいのか、何ができるのか、何が必要なのかサッパリわからないので都城市の防災システムを調べたりしましたが、ネット上の情報ではピンときません。見学や体験でもどこまで察知できるかわからないと考え、地元の消防団に入団し、どのような教育を受けてどのように消防団員が成長するのか、また都城市の防災の実態を肌で感じてみようと思いました。56歳という歳で経験も全くなく受け入れていただけるかわかりませんでした。地元第6部の部長さんが意気込みを理解してくださり、入団しました。もちろんお茶の買い出し、荷物運びなどから全くの1年目として始めました。若い先輩団員の方々は、当初こんなおやじ新人に対して気を使われていましたが、やる気をわかっていたいただき新人として指導、教育していただきました。都城市の消防団新人研修もすべて参加し、若い新人団員ばかりの中、心肺蘇生、ホースの巻き方、投げ方、担ぎ方などさまざま学びました。消防車を運転しながらの夜警や、広報活動、消火栓の点検、新年の出初式では筒先を持ち放水を体験し、実際の火災消火活動でも放水で消火活動を行いました。煙を吸って、気管支炎で数週間きつかったのも大きな経験で

した。令和2年は消防団の全国操法大会が予定されていて、地方予選の補助員として参加予定でしたが中止になり残念でした。

都城市の防災は、都城市役所の総務部危機管理課を中心にさまざまな危機事象発生に備えています。この危機管理課のもとに動員される消防団は1,500人を超える団員で構成されています。都城市役所の職員は2年間消防団に所属することになっていて消防団の構成が保たれるだけでなく、市役所職員がみな消防団経験者となり防災拠点を支えています。

私設防災チームづくりの取組みに賛同してくださる方もいて、少しずつメンバーもできてきました。都城市のクレーン会社の社長さん、建設会社の社長さん、ちがう建設会社の部長さん、行きつけのお店の店主さんや同級生など。まだ活動内容は定まっていませんが電話したらすぐに重機が来てくれます。防災倉庫も作り、少しずつ防災グッズを蓄えています。今後は想定できる災害対応など考えて、いざというときに都城市危機管理課、都城市北諸県郡医師会のお役に少しでも立てるようなチームを作ります。

職場の事情から、令和3年度の活動をもって退団し、以後消防団OBとして6部を微力ながらバックアップしていきたいと思っています。

ホットヨガを始めて

宮崎市 郡司眼科 しん じょう うた こ 新城 歌子

年が明けると年女、84歳になる。夫は10か月年長である。私は降圧剤を、彼は血液サラサラの薬を服用していて、ともに老化への道をつき進んでいる。

食事は椅子・机式でない駄目で、食事処でコタツ式になると出入りにひと苦勞してしまう。床に落ちたものを拾うのも大変、靴下を履いたり、脱いだりも大変である。

彼が腰が痛い処方されたコーヤクを貼る手伝いをしていたが、ひと月後、私の腰の反対側の同じところが痛くなり、今度は私がコーヤクを貼ってもらって何とかしのぐことになった。

少しでも老化進行の歯止めになるのではないかと、紹介されて「ホットヨガ教室」に通うことにした。45分から1時間、暖かい床と隅では蒸気が吹き出ている部屋に、マットが並び、中央の先生の指導を受ける。60人定員の筈だが、いつも10名くらいである。

1年間は続けると割引率が高くなるクラスに入った。タオル3枚、上下ウェア付き、500mlの冷たい水がサービスされる。

クラスが終わると全身汗びっしょりだが、男女別のシャワー、風呂場があり、脱いだウェアとタオルはそのまま分けて投げ入れるようになっている。

家を出てから帰るまで、2時間あまりかかるが、午後の仕事は4時からの外来なので、週3回は参加できている。

クラスでは今のところ、半分以上ついていけない。あぐらがかけない。立ったり座ったりがスムーズにできない。前屈ができない。

が、老夫婦が並んでモタモタしていると、先生が「立っているだけでも、寝ているだけでもいいんですよ。今日は呼吸がとてもよくできていました」とやさしく声をかけてくださった。

1か月半が過ぎた。1年後、少しは体が柔らかくなっているだろうか。ともにモタモタしている相棒がいることに感謝している。



五十肩体験

日南市 になんファミリークリニック とび まつ まさ き 飛松 正樹

2020年、私は五十肩に悩まされました。体力維持にとジムに通って3年。肩に違和感がありながらも通っていました。3月のある日、右肩に激痛を感じました。少しの衝撃で激痛が走り、肩が動かしくい。様子をみていましたが、1か月、2か月たってもよくなり、整形外科を受診。「五十肩ですね。」と診断を受けました。五十肩になるにはもっと先のことかと思っていたので一瞬戸惑いましたが、私も46歳、そうかと複雑な気持ちで納得しました。そして、それから五十肩を甘く見ていたことを反省することになりました。

日常生活では、就寝中に寝返りすると痛みで

目が覚めることもしばしば、車のシートベルトをする、庭の草むしりでも、たまに衝撃のような痛みが走る。久しぶりに息子がキャッチボールをというのでやってみると、肩が回らず普通にボールが投げられない。お風呂に入るときには、シャツをなかなか脱げずに脱衣所で途方に暮れる。仕事では、まず白衣を着るのが辛い、ペンライトや舌圧子を取るのに手を伸ばすと痛みがある。予防接種では皮下をつまむ動作で脇を開くと痛みがあるので極力脇をしめて接種する。高齢の患者さんがベッドから起き上がるのを介助しようと腕を伸ばすと痛みがあるので見守るのみでした。少し痛みがとれてもまた悪く

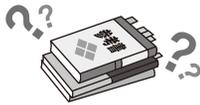
なる始末で、理学療法士からのリハビリのお世話になりました。半年ほど経ちようやく右肩の動きもよく痛みもほとんどなくなったのですが、そのころから今度はなんと左肩に痛みが。これが五十肩かと身をもって知ることになりました。

自分が五十肩になってみると、不思議と患者さんから肩の痛みで相談を受けることが多く、「私も五十肩です。」と五十肩仲間で共感したり、片麻痺のある患者さんが診察のときに上手に上着を脱ぐ様子を見て、心の中で感心したりと。肩の痛みと新型コロナでジム通いは中断しましたが、五十肩の患者体験で新しい気づきもあった1年だったかなと思います。

1月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年1月1日～1月28日

1	新居眠り警音・幼なじみ	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
2	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東 野 圭 吾	光 文 社
3	スマホ脳	アンデシュ・ハンセン	新 潮 社
4	今度生まれたら	内 館 牧 子	講 談 社
5	元彼の遺言状	新 川 帆 立	宝 島 社
6	精神科医が教えるストレスフリー超大全	樺 沢 紫 苑	ダイヤモンド社
7	麦本三歩の好きなもの	住 野 よ る	幻 冬 舎
8	ゴミ人間	西 野 亮 廣	KADOKAWA
9	続 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。	J a m	サンクチュアリ出版
10	たちどまって考える	ヤ マ ザ キ マ リ	中 公 新 書



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は32ページ)

1. 選択緘黙について正しいのはどれか。
 - a 思春期に多い。
 - b 聴力は正常である。
 - c 言語理解の障害が原因である。
 - d 脳波検査が診断に有用である。
 - e 発声練習による治療が有効である。
2. 緊急気管切開を考慮すべき疾患はどれか。
 - a 肺水腫
 - b 緊張性気胸
 - c 過換気症候群
 - d 急性喉頭蓋炎
 - e 声帯ポリープ
3. 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉の診断に有用なのはどれか。
 - a 脳波検査
 - b 針筋電図検査
 - c 平衡機能検査
 - d 脊髄腔造影検査
 - e 感覚神経伝導検査
4. 2歳0か月時の発達で遅れがあるのはどれか。
 - a 三輪車をこげない。
 - b 片足立ちができない。
 - c 自分の姓名が言えない。
 - d はさみで紙を切れない。
 - e 興味のあるものに指さしをしない。
5. 32歳の男性。発熱、鼻汁および咳嗽を主訴に来院した。夏休みの家族旅行で1週間東南アジアに滞在し、2週前に帰国した。来院時の現症では結膜充血、口腔内に白色斑と全身に癒合性のある紅斑を認めた。

誤っているのはどれか。

 - a 保健所へ届け出る。
 - b ウイルス遺伝子検査を行う。
 - c 陰圧個室管理体制で診療する。
 - d 患者の受診前の行動を確認する。
 - e 感染予防にサージカルマスク着用が有用である。
6. 局所麻酔下で患者に外科的処置を行う際の正しい方法はどれか。
 - a 麻酔薬の注射には18G針を使用する。
 - b 滅菌シートの穴より狭い範囲で消毒する。
 - c ポビドンヨードを塗布後、直ちに処置を行う。
 - d 麻酔薬の注射後、痛の有無を確認してから処置を行う。
 - e 注射針を刺入し血液逆流があることを確認してから麻酔薬を注入する。
7. 直径10cmの子宮筋層内筋腫が原因となって生じ得るのはどれか。
 - a 片頭痛
 - b 無排卵
 - c 過多月経
 - d 希発月経
 - e 月経前症候群
8. 感染性心内膜炎の疣贅を検出する感度が最も高いのはどれか。
 - a 心臓MRI
 - b 胸部造影CT
 - c 経胸壁心エコー検査
 - d 経食道心エコー検査
 - e MIBG心筋シンチグラフィ
9. 疾患とその疾患に特異的な自己抗体との組合せで正しいのはどれか。
 - a 多発性筋炎 —— 抗Sm抗体
 - b 全身性強皮症 —— 抗RNAポリメラーゼIII抗体
 - c Sjögren症候群 —— MPO-ANCA
 - d 顕微鏡的多発血管炎 —— 抗RNP抗体
 - e 全身性エリテマトーデス〈SLE〉 —— 抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体〈抗ARS抗体〉
10. リンパ球の抑制シグナルに関与し、現在、治療標的となっている分子はどれか。

2つ選べ。

 - a CD8
 - b CD28
 - c TLR〈Toll-like receptor〉-4
 - d PD〈programmed cell death〉-1
 - e CTLA〈cytotoxic T lymphocyte-associated molecule〉-4

エコー・リレー

(546回)

(南から北へ北から南へ)

引越し癖

串間市 のだ小児科医院 の だ たかし
野 田 隆



三股の畠中先生よりバトンを渡されました。私は、なぜか無駄な引越しをする運命にあるようです。

生まれたところは、兵庫県神戸市生田区中山手通1

丁目です。神戸市の中心街です。生まれた家は地震で倒壊しましたが、地価が高くて再建不能なほどの中心地でした。2歳のときに父の仕事のために、岡山県玉野市の西本町に引越しました。そこも道路建設のため向山という地区に引越しました。後でゴルフ場ができるほどの山の中です。玉幼稚園、玉中学校、玉野高校を卒業しました。玉野市というのは、造船所のある玉町と四国の高松市との連絡船で有名だった宇野町の合併でできた市です。高校同学年には、漫画家の「いしいひさいち」がいます。一緒に落研を作りました。ここまでは、2回の引越しですが、徳島大学で3回、大学院を千葉に行って2年で徳島大の大学院に転入学したので2回、ドイツ・フライブルグ大学留学中に3回、徳島大に帰って約半年後に鹿児島大学医学部生化学教室講師になって約8年後に小児科に転向しての鹿児島時代に3回引越しをしました。極めつけは、串間市立病院官舎で3回引越しをして、現在の住居に移りました。何とか16回目の引越しが最後になりました。

後は、身一つであの世とやらへ引越すのを待つばかりとなりました。

[次回は、高鍋町の高山 修二先生をお願いします]

変化の先に、願いを込めて

宮崎市 いわきりこころのクリニック いわ きり みちよ
岩 切 美千代



2020年は変化の多い年でした。

《仕事》

出張や旅行は全くなくなり、宮崎から一步も出ない生活。学会などの旅行もできず、感染対策された県医

師会館などの研修会だけの外出。家にいてもすることはないので、例年に比べて書類書きは比較的進み、クリニック創立10周年記念講演会はZoomで行いました。

《食生活》

昨年のGWは暇すぎてぬか漬けに挑戦し、今でも続いています。整腸作用は抜群です。研究会に出席して帰りは歩いて帰るという運動をしていたため、運動不足でコロナ太りとなったので意を決して糖質制限にチャレンジしてみました。はじめのころは低血糖でクラクラしていましたが、そのうち食後の眠気が減ってきて頭がクリアになってきた気がします。

《マスク生活》

マスクなしではどこにも行けません。1年中マスクを着ける生活は初めてでした。歯科や耳鼻科など診療で常にマスクを着けていた方々、夏場は暑くて大変だったのですね。コロナ明けにマスクを外すと浦島太郎のように○年分老けてびっくり、ということになるかも…。自粛生活が終わりマスクを外したそのときは、以前とは違う手続きや認証といった生活様式や触れあわずにすむ対人関係様式に進化していることでしょう。その変化に取り残された人たちを守っていける精神医療でありたいと思います。また最後に、2021年は感染症対策で疲弊した医療機関や行政の方々の頑張りが報われる年になることを願っています。

[次回は、都城市の高城 健司先生をお願いします]

メディアの目

コロナ禍で定着した
ローカルニュースの「新たな伝え方」テレビ宮崎 報道部 部長
いの うえ ゆたか
井 上 豊

この原稿を書いている1月5日、県内全域に「感染拡大緊急警報」が発令された。そして2日後には、首都圏に「緊急事態宣言」が発令される見込みだ。まずは県民の命を守るために日々戦っていただいている医療関係者の皆様に心より感謝申し上げ、皆様がこの記事を目にされるころには、感染が収束していることを切に願う。

さて、コロナに始まりコロナに終わった2020年。私たち地方テレビ局は、その伝え方に悩み、迷い、試行錯誤を続けた1年だった。感染者の行動歴を詳しく伝えれば本人の特定につながり、いわれなき誹謗中傷につながってしまう。さりとて、二次感染、三次感染のリスクを避けるため伝えたほうが社会に有益な情報もある。どこでその線引きをするのか。どう伝えるのか。悩み続けた1年だった。そして2020年は、我々のニュースの「新たな伝え方」が定着した年でもあった。それはテレビで見る「地上波放送」ではなく、パソコンやスマートフォンで見る「インターネットライブ配信」である。地上波テレビは、キー局から送られてくる番組を放送する時間の方が圧倒的に多く、自社制作

番組を放送できる時間は、極めて短い。つまり、生放送したいコンテンツがあっても、放送できない時間帯の方が多いのだが、それを可能にしたのが「ライブ配信」だ。

宮崎県内で初の感染者が確認された去年3月4日。午後11時過ぎから河野知事が緊急記者会見を行うことになった。この時間だと、地上波では放送できない。早くても明日の朝になる。そこで我々は、「少しでも早く県民に伝えよう」と、初めて知事会見のライブ配信を行った。総視聴者数は2万人を超え、それ以前の配信実績とは桁が違う、予想以上の反響だった。配信を重ねるたびに視聴者は増え、反響も日に日に大きくなった。それに加えて、「UMKアプリ」によるプッシュ通知や、インターネット上に記事を掲載する「宮崎ニュースUMK」も定着し、我々が情報発信する場所は、格段に増えた。我々の一番の使命は、宮崎の出来事を伝えること。「新しい伝え方」を有効活用し、県民の皆様には有益な情報を伝え続けたい。

表彰・祝賀

公衆衛生功勞により県知事表彰

し し め けんいちろう
獅子目 賢一郎 先生 (宮 崎)
ふち わき かず お
淵 脇 和 男 先生 (都 城)
やま もと たけし
山 本 剛 先生 (延 岡)

令和3年1月15日、公衆衛生功勞により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



獅子目 先生



淵脇 先生



山本 先生



宮崎県感染症発生動向 ～12月～

令和2年11月30日～令和3年1月3日（第49週～第53週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核5例（男性3例・女性2例）都城（3例）、宮崎市、高鍋（各1例）保健所から報告があった。病型は肺結核が4例、無症状病原体保有者が1例で、年齢は80歳代が3例、90歳代が2例であった。
- 3類：報告なし。
- 4類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代男性で、主な症状として肝機能異常がみられた。

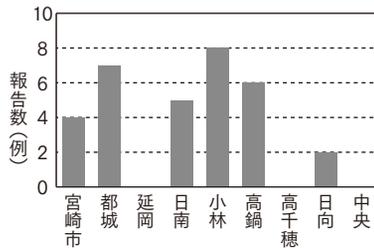


図1 つつが虫病 保健所別報告数

表1 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	3
50歳代	5
60歳代	7
70歳代	8
80歳代	8
90歳代	1

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、11月下旬に発症し、12月初旬に死亡した。ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱、神経症状、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、紫斑、消化管出血がみられた。
- つつが虫病32例：（男性19例・女性13例）：保健所別報告数は【図1】、年齢別報告数は【表1】のとおりであった。主な症状として頭痛、発熱、刺し口、発疹、倦怠感等がみられた。
- レジオネラ症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として発熱、咳嗽、下痢、意識障害、肺炎がみられた。
- 5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で、病型は腸管アメーバ症、主な症状として下痢、粘血便、しぶり腹、腹痛がみられた。
- ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で、病型はB型であった。主な症状として、全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常がみられた。
- 後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で、無症候性キャリアであった。
- 梅毒9例（男性7例、女性2例）：宮崎市（7例）、都城、延岡（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は30歳代が4例、20歳代が3例、40歳代が2例であった。病型は無症状病原体保有者が5例、早期顕症梅毒Ⅱ期が3例、早期顕症梅毒Ⅰ期が1例であった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、丘疹性梅毒疹がみられた。

■指定感染症

- 新型コロナウイルス感染症373例：保健所別、年齢別報告数は【表2】のとおりで、主な症状は発熱、咳、全身倦怠感、咽頭痛等であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,743人（定点あたり49.9）で、前月の140%、例年の35%であった。前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は197人（5.5）で前月の約10.4倍、例年の約2.5倍であった。都城（25.2）、日向（6.0）保健所からの報告が多く、1～2歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は623人（17.3）で前月の約1.5倍、例年の約0.4倍であった。中央（28.0）、都城（24.3）、日向（21.3）保健所からの報告が多く、1～2歳が全体の約3割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
ウイルス		ヒトヘルペスウイルス6	2
		ライノウイルス	2
		Hepatitis A virus genotype IIIA	1
細菌		Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
		Salmonella enterica subsp. enterica (血清型不明)	1
		Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
		Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	1
		EPEC (O18:HUT)	1
		EPEC (OUT:HUT)	2

表2 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

報告保健所	報告数	年 齢 群										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
宮崎市	178例	4	13	28	28	28	30	11	16	13	5	2
都城	110例	1	14	12	11	13	14	17	12	13	3	
延岡	24例		6	3	6	3	2	3	1			
日南	2例						1			1		
小林	4例		2		1	1						
高鍋	10例	1	1	2		3	2			1		
高千穂	1例		1									
日向	16例		3	4	3	1	2	3				
中央	8例		3	2			1	1				
県外	20例	2	1	9	2	4	1		1			

前月との比較

	2020年12月		2020年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1	0.0	2	0.0	
RSウイルス感染症	197	5.5	19	0.5	★
咽頭結膜熱	106	2.9	71	2.0	
※溶レン菌咽頭炎	337	9.4	294	8.2	
感染性胃腸炎	623	17.3	426	11.8	
水痘	34	0.9	34	0.9	
手足口病	241	6.7	163	4.5	★
伝染性紅斑	7	0.2	4	0.1	
突発性発しん	120	3.3	93	2.6	
ヘルパンギーナ	59	1.6	130	3.6	★
流行性耳下腺炎	7	0.2	10	0.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	11	1.8	7	1.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向(2020年12月)

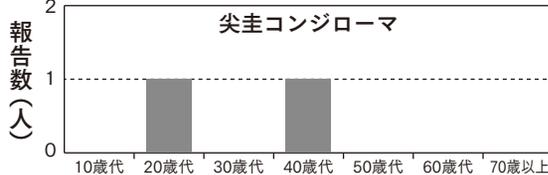
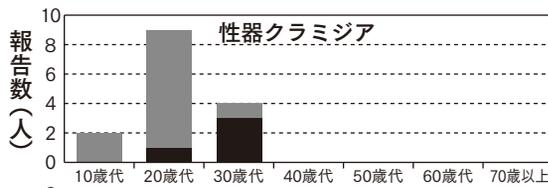
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比65%と減少した。また、昨年12月(2.2)の115%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月及び昨年12月の約0.6倍であった。20歳代が全体の6割を占めた。(男性4人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約4.6倍であった。(男性3人・女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同率であった(昨年12月は報告なし)。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の約0.8倍であった。(昨年12月は報告なし)。(男性3人、女性3人)



□薬剤耐性菌

■男 ■女

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比94%と減少した。また、昨年12月(1.4)の170%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約0.9倍、昨年12月の約1.7倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各郡市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

2020年は、皆様にとりましても今までの日常、常識を覆させられた一年だったことと思います。当医師会も同様に激動の一年でした。

当医師会の主催で、第51回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会を開催する予定でしたが、残念ながら中止となりました。約2年間にわたる準備も無駄に終わってしまいました。準備に奔走していただいた関係者各位に感謝する次第です。

当会で運営する都城健康サービスセンターでは、PCR検査以前に導入していたLAMP法という手段で標的細菌、ウイルスを検出していたこともあり、県内でもいち早く新型コロナウイルスの検出検査体制を整えました。各医療機関からの持ち込み検査には対応できていませんでしたが、今後は採取方法、検体の取り扱い方法などを確立させ、各医療機関からの個別の検体検査ができる体制にしていきたいと思います。

都城地区では、新型コロナウイルス対策の中核を都城市郡医師会病院が担っています。他地域と違って、唯一民間の施設が担当しています。運営上損失補填など公的補償が他施設よりも不十分な面もありますが、院内スタッフは大変奮闘してくれています。頭が下がる思いです。スタッフがこれからも疲弊することがないように十分に配慮しながら、運営することが大切であると考えています。

今後もなお一層、皆様方のご要望にいち早く対処し、更なる信頼を得られる施設運営を目指してまいります。

(江夏 剛)

宮崎市郡医師会

当会では新築移転した医師会諸施設の運営に役職員一同全力を挙げて取り組んでいます。周りには飲食店やホテルもありますが、バス路線を整えていただき、国道の案内看板設置の見込みもたち、少しずつ軌道に乗ってきたと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症を想定して建てられた建物ではないため、換気的面や部屋割りで不具合を感じます。廃棄物置き場も増設することになりました。本年も変化に前向きに対応していきたいと思えます。

(市来 能成)

延岡市医師会

2020年秋の高等課程1次試験で、延岡看護専門学校開設以来、初めての定員割れという衝撃を受けました。11月緊急で看護学校将来構想検討委員会を開催。2019/8の日州醫事で「医師会が支えてきた、高等(准看)→専門(正看)課程を、今の時代にどう合わせていくか」と締

めた便りを載せました。そんな余裕はないと、肝を据えることにした。早速県北10校の高校生を対象にアンケートを行い、12月例会で結果+延岡看護学校の今後の方向性を提示。医師会会員の総意を取り付けるため、乗り越えるべき壁は多いが、待ったなしで対処するつもりです。新年度の報告をお待ちいただければと思います。

(金井 一男)

日向市東白杵郡医師会

年が明けても新型コロナウイルスへの脅威が強まるばかりで3密を避ける行動の変容はもとより検査態勢の充実は言うまでもありません。

ここで昨年、当医師会が行った検査態勢について紹介します。

3月から10月一杯は管内有志の4医療機関で自主検査を行っており、あわせて7月から9月第1週までの間、日向市設置のPCR検査センターでの検体採取を17医療機関で受託しました。

11月以降の流行期への備えは31医療機関が自院での初期診療と検体採取を行っています。

心配された年末年始も在宅当番医が一般診療に加えて発熱者に対する診療および検体採取を行い、2次医療機関のバックアップ体制も整えることができました。

あらためて会員医療機関のご協力に感謝申し上げます。

(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

児湯准看護学校は少数精鋭の定員若干20名の学校です。来年度の募集状況は令和2年10月31日に推薦と社会人入試で10名、12月5日の一般入試で5名、合計15名の合格者となっています。5名の定員不足です。令和3年2月27日に二次募集を行い、何とか帳尻を合わせて学校の赤字運営が少なくなればと祈っています。また今年は新型コロナウイルス感染予防のため中止となっていた臨地実習が再開されて、看護学校教務の苦労が少なくなりますようにと願っています。

(蟻塚 高生)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

当医師会において現在、医療センター、行政、医師会の三者協議が定期的に実施され、近年稀にみる良好な関係構築に至っており、当医療圏の患者さんを取り残さない対策強化・有病連携を行い、入院調整を市内4病院で実施中です。今般の新型コロナウイルスに対しても、各医療機関でPCR検査に積極的に参加いただいております。情報共有を行い、それぞれの医療機関の持ちうる能力がfullに発揮できる体制を堅持していく所存です。県民の協力の元、新型コロナウイルスの終息を願います。

(大塚 康二郎)

南 那 珂 医 師 会

2月号掲載予定ですが原稿記載1/5です。COVID-19感染拡大が治らず、皆さんが医師会だよりを目にされるころは終息に向かっている

でしょうか？年末年始はPCR検査のために南那珂医師会でも受け入れ担当先を急遽決め担当していただいた医療機関に感謝申し上げます。当院も担当して、帰省での自己負担検査含めても然程多い印象ではなかったように感じます。1/4になり年末の多人数での会合による陽性のcaseが散見されだしています。

現在の新型コロナウイルス感染症に対応する診療、検査医療機関の体制確保補助金制度はPCR検査例が多いほどマイナス査定になるようにPCR検査数に合わせたプラス査定になるようにぜひお願いしたい。

(河野 秀一)

西 諸 医 師 会

昭和34年に設立され今日までに2,195人の准看護師を輩出し、西諸地区の医療に多大な貢献をしまりました小林准看護学校は、令和3年4月に最後の入学生を迎え入れることとなりました。社会情勢の変化にともなう生徒数の減少や、新しく設立された小林看護医療専門学校が軌道に乗ったことなどが理由でございますが、西諸医師会は今までも准看護学校の運営を重要活動事業として取り組んでまいりました。これからも最後の入学生が無事卒業するまで全力で支援していく所存です。

(井尻 裕司)

西 白 杵 郡 医 師 会

令和2年10月28日(水)午後4時から午後6時まで、高千穂町保健所の2階講堂で、延岡西白杵郡地域医療構想調整会議、第4回西白杵郡地域公立病院部会が開催されました。その際、3町立病院や地域医療などの現状分析、将来予測を行い、西白杵郡の地域医療を長期的に存続させることを目的に、長期的に継続可能な医療提供体制の仕組みを作ることになった。当日は3密を防ぐ目的で窓を開け放った状態での会議であった。私には、なぜか、いつもより肌寒く感じたのは、気のせいだろうか？

(植松 昌俊)

宮崎大学医学部だより

医療人育成支援センター



かたおか ひろあき
片岡 寛章 教授

2015年10月に医療人育成支援センターが新設されてから5年が経過しました。本センターは、国内における医学教育・医師養成のあり方が目まぐるしく変化する中、本学の卒前・卒後一貫教育

の充実を目指した組織で、臨床医学教育部門、看護実践教育部門、医療シミュレーション教育統括部門、医療人キャリア支援部門の4部門から構成されています。臨床医学教育部門には医師5名（小松弘幸、安倍弘生、船元太郎、宮内俊一、遠藤穰治）、看護実践教育部門には看護師1名（加藤沙弥佳）が専任配属しており、安倍は模擬患者「安息の会」、遠藤は医療シミュレーション教育統括部門、船元・加藤は医療人キャリア支援部門、小松・宮内は附属病院の卒後臨床研修センターをそれぞれ兼任で担当しています。

この5年間に医学部教育、臨床研修、専門医養成、それぞれの領域で教育・養成制度に関する大きな変革がありました。医学部教育では、2018年に本学が「医学教育分野別認証評価」を受審し国際的水準を満たした医学教育機関であると認証されたこと、2020年から6年生の臨床実習終了後の技能試験（Post-CC OSCE）が全国统一実施となり、本学でも計8課題を実施したことが特に大きな出来事でした。本センターは医学部教務委員会と連携を図りながら活動し、新たな臨床実習評価システムの構築、Post-CC OSCEの課題作成や評価者養成などを行いました。また、医学部での初年度教育の充

実が学生のその後6年間のモチベーション維持に重要と考え、「医学・医療概論」、「早期大学病院実習」の内容を充実させ、学生のストレス・メンタルヘルスの自己管理にも役立つような「行動医学」という新しい講座も開講しました。

臨床研修では、2020年からの研修制度見直しにともない、外来研修の必須化やアウトカムを重視した新たな評価方法の導入への対応に追われていますが、現在も大学30診療科と県内55協力型臨床研修病院・施設によるAll Miyazaki型の本院臨床研修システムは健在であり、約60名の所属研修医に充実した研修環境を提供できております。また、2018年から開始された新専門医制度では、本院でも基本19領域すべての専門研修プログラムが整い、今年には本センターとキャリア支援係で全領域を網羅した「宮崎大学専門研修プログラム冊子」を共同編集することができました。

本学地域枠・地域特別枠入学の医学生および卒業生に対しては、宮崎県と宮崎大学によるキャリア支援の連携強化が図られ、2017年には本センター内に「宮崎県地域医療支援機構・宮崎大学分室」が新設されました。現在、分室長（小松）、分室医師（黒木純、中村佳菜子）、分室事務（舟橋美保子、桑津あゆみ）の5名体制で、新たに策定された宮崎県キャリア形成プログラムの円滑な適用に向けて、医学生や研修医へ説明会や個別面談を行っています。

本学医学部教育の充実や宮崎での医師養成・確保の推進に対する本センターへの期待は大きく、2021年4月からは組織名称が「医療人育成推進センター」へと変更になります。今後とも、皆様からのご指導とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※医療人育成支援センターHP

(URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/iryoujin/>)

※医療人育成支援センター通信Vol. 1～8

(上記HPよりダウンロードできます)

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

－ 各種委員会 －

医学賞選考委員会

と き 令和2年11月30日(月)

ところ 県医師会館

嶋本理事の開会，小牧常任理事の挨拶後，比嘉委員長の進行により本年度の医学賞について協議した。

昨年発行された宮崎県医師会医学会誌第43巻第1号および第2号を対象とし，各専門分科医会からの推薦などを参考に討議した結果，「問診で得られた排尿のための第一覚醒時間の有用性：外来患者における夜間頻尿と睡眠習慣の聞き取り調査」（村岡敬介先生 第43巻第2号）と「過去20年の総合周産期母子医療センターにおける産科症例の変遷」（川越靖之先生他 第43巻第2号）の2論文を選考し，医学賞受賞候補論文として河野県医師会長に推薦することとなった。



出席者－比嘉委員長，河野副委員長，
大西・小牧・金丸・嶋本委員
(県医) 牧野課長，荒川主事

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	d	b	e	e	d	c	d	b	d, e

令和2年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会

と き 令和2年12月24日(木)

ところ 県医師会館（TV会議場：都城，延岡，日向，児湯）



瀬ノ口常任理事の司会により開会され，河野会長から挨拶後，報告・協議を行った。

報 告

- 1 令和3年度県に対する要望事項について
- 2 令和元年度看護学校卒業生および令和2年度入学生の状況について
- 3 医師会立看護学校卒業生就業状況（平成17～30年度）について
- 4 医師会立看護学校運営状況について

協 議

1 遠隔授業について

国の指導ガイドライン改正（2022年4月）で遠隔授業を取り入れることが明記され体制整備が必要になってくる。本県では医師会立看護学校の遠隔授業について，県医師会と学校教務・事務者間で今年度に2回検討会を開催し，遠隔授業導入についての問題点や授業形式について意見交換を行ってきた。

各校から現況などを含めて率直な意見をご発言いただいた。

今年はコロナ対策でZoomなどを利用しでのWeb授業を行っているが，トラブル時



に対応できる職員が必要であるなどの意見があった。複数校同時に授業を行う遠隔授業の他，講師の負担を減らすため，授業を収録したDVDを他校や翌年の同授業でも利用する案も出され，引き続き検討を進めていくこととした。

出席者

県医師会館

宮崎：弘野校長，玉置・白尾副校長，井上事務長，滝川事務主事

都城：楢原校長，藤田事務課長

児湯：永友校長，鍋倉教務主任

西諸：園田校長（県医担当理事兼務）

県医療薬務課：鶴主幹，岩田主査

TV会議

都城：永吉副校長，山内教務主任

延岡：野田校長，金井担当理事，門田副校長，古川事務次長

日向：松岡校長，國延事務局長，黒木教務主任

児湯：坂田担当理事，富高事務長

（県医）河野会長，山村副会長，

瀬ノ口担当理事，牧野課長，渡邊係長

臨時各郡市医師会長協議会

と き 令和3年1月7日(木)

ところ 県医師会館および各郡市医師会館他（Zoomによる開催）

1 開 会

小牧常任理事の司会により開会。河野会長は、新型コロナウイルス感染症に関する県知事の記者会見に同席し遅参のため、濱田副会長から新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の急増を受け急遽開催することとなった旨説明があり、報告、協議に入った。

2 報 告

県健康増進課の川越課長から、同日17時から開催された県新型コロナウイルス感染症対策本部会議での資料をもとに報告があった。主な内容としては、1月6日時点での直近1週間の人口10万人当たりの感染者数は32人で、東京都、神奈川県に次ぐ全国3位となっている。県外との往来・接触到に端を発し、接待をとまなう飲食店等、会食等、家族・親族をとおして感染が拡大し、更に家族・親族や高齢者施設をとおして、高齢者の感染につながっている。また、入院患者などの急増にともない受入可能病床数などの医療提供体制がひっ迫している状況であり、特に都城市・北諸圏圏域での感染者の増加を受け、同圏域の宿泊療養施設の開設を急いでいる。県全体の状況としては、爆発的な感染拡大（ステージ4）の段階にあり、今後1、2週間は感染拡大が続く恐れがあるとして本日県独自の緊急事態宣言の発令が決定したことなどが報告された。

続いて、感染が拡大している地域として、川名宮崎市医師会長と田口都城市北諸郡医師会長から医師会病院などのおかれている厳しい現状について報告があった。

また、中武県看護協会会長からは、県内の未就業の潜在看護師についての調査を行っ

た結果、実際に新型コロナウイルス感染症に対応できる看護師は10名程度しかいないことも報告された。

3 協 議

新型コロナウイルス感染症患者などの急増に対応するため、医療機関の受入れ可能病床の拡大、回復後引き続き入院管理が必要な患者の入院受入れ、患者受入医療機関や宿泊療養施設への医療スタッフの派遣などについて協議がなされ、会員医療機関向けに緊急調査を行ったうえで準備を進めることが承認された。なお、調査にあたっては、条件の明示およびコロナ以外の業務にも対応できるかどうかも含めて調査することとなり、県全体で一丸となってこの危機を乗り越えていくことの決意を確認した。

出席者

各郡市医師会

川名・田口・佐藤・千代反田・永友・松本・中村・内村・植松・鮫島会長

県医師会

河野会長、濱田・山村副会長、

吉田・小牧・荒木・金丸・瀬ノ口常任理事、峰松・帖佐・嶋本・赤須・大塚理事

県看護協会

中武会長、江川常務理事

県健康増進課

川越課長

県医療業務課

小牧課長

事務局

山内事務局長、竹崎次長、久永・松本・牧野課長、野尻・湯浅課長補佐、田崎・横山・羽田野主事、杉田医師国保組合事務長

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿（医科）

（任期 令和3年1月1日～令和4年12月31日）

（○印は新任）

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	石 川 恵 美	外 科	上 田 祐 滋
”	遠 藤 豊	”	甲 斐 眞 弘
”	大 橋 剛	”	後 藤 又 朗
”	川 越 宏 文	”	田 畑 直 人
”	菊 池 郁 夫	”	永 友 淳 司
”	黒 木 和 男	”	日 高 秀 樹
”	鈴 木 斎 王	”	丸 田 眞 一
”	瀬ノ口 洋 史	”	峯 一 彦
”	西 川 清	脳神経外科	上 原 久 生
”	姫 路 大 輔	”	大 田 元
”	藤 元 昭 一	心臓外科	金 城 玉 洋
”	眞 柴 晃 一	”	山 内 励
”	松 尾 剛 志	皮 膚 科	○ 菊 池 英 維
”	光 川 知 宏	”	津 守 伸 一 郎
神 経 内 科	湊 誠 一 郎	泌 尿 器 科	黒 岩 顕 太 郎
精 神 科	○ 谷 口 浩	”	向 井 尚 一 郎
”	堀 徹 也	産 婦 人 科	○ 土 井 宏 太 郎
小 児 科	西 口 俊 裕	”	松 敬 文
”	四 元 茂	眼 科	中 崎 秀 二
整 形 外 科	阿久根 広 宣	”	中 村 彰 伸
”	税 所 幸 一 郎	耳 鼻 咽 喉 科	植 木 義 裕
”	佐 藤 信 博	”	鍋 倉 隆
”	松 岡 知 己	”	春 田 厚

敬称略・五十音順

日医インターネットニュースから

■新型コロナ対応に全力、国民は危機感を — 中川会長 —

中川俊男会長は新年を迎えるに当たってメディアファックスの取材に応じ、引き続き新型コロナウイルス感染症の対応に全力を挙げる姿勢を示した。

緊急包括支援交付金や診療報酬での対応を評価した一方、「十分とは言えない」とし、さらなる支援の必要性を訴えた。政府に対しては柔軟で素早い対応を求めた上で、国民に緩みが見られるとも指摘。「国民に連帯感を持った緊張感、危機感を取り戻さなければならない」と述べ、政府が社会に強いメッセージを発することが必要とした。

日医はPCR等検査が地域で円滑に実施できるよう緊急提言を公表し、実現に至った。その後も交付金や診療報酬での支援を要望し、補正予算で実施された。中川会長は新型コロナの患者を受け入れているかどうかにかかわらず医療機関経営の厳しさが増していることは「政府・与党に訴えて理解されたと思う」とし、対応を評価した。

一方で、医療機関へのさらなる支援や運用面の改善などを求め、確保病床数の定義見直しや国からの通知に対する都道府県の柔軟な対応、医療従事者への誹謗・中傷対策などを課題に挙げた。政府、厚生労働省の専門家による会議には、医療現場や感染の実態を的確に判断し、勇気を持って政府に提言してほしいと要望した。

会長就任後の約半年間については「あつという間だった」と振り返り、「日医の求心力は高まっている」と手応えを示した。「全国から『応援している』『頑張してほしい』という声が毎日届く。それが力になっている」と感謝の言葉を述べた。新型コロナへの対応に加え、都道府県医師会会長協議会の見直しなど会務改革にも取

り組んだ。協議会は形式を改め、これまでに2回開催しており「一定程度うまくいっていると思う」と述べた。

●後期高齢者負担「上限以外にも工夫を」

後期高齢者の窓口負担引き上げでは、さらなる負担軽減策が必要だと主張した。高齢者は受診回数が多いため、負担引き上げによる受診抑制に懸念を示した。

影響が大きい外来患者については、施行後3年間、1カ月分の負担増が3,000円に収まるような措置が導入されるが、中川会長は「上限設定以外にも何か工夫をしていただきたい」と求めた。

委員長を務める日本医師連盟（日医連）の活動では、次期参院選の組織内候補として自民党現職の自見英子氏を擁立することを決めた。参院選の前に実施される衆院選での活動を強化し、自見氏への支援体制を整える方針を示した。「(衆院選で)参院選の基盤を全国に作る。日医連は今まで以上だと思ってもらえるようにしたい」と述べた。(令和3年1月8日)

■医療従事者への接種体制構築で通知 — 厚労省 —

厚生労働省健康局健康課は1月8日付で、課長通知「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について」(健健発0108第1号)を都道府県などに出した。医療従事者への接種体制構築が円滑に進むよう、予防接種の基本的な考え方を示した。体制構築の標準的な進め方については▽都道府県▽市区町村▽医療関係団体▽医療機関—に分けて整理した。

基本的な考え方では、▽医療従事者等への接種の枠組み▽体制構築に向けた準備の概略—に

ついて説明。接種は医療従事者等以外と同様、市町村（特別区含む）が実施主体となり、市町村と集合契約を締結した医療機関などで実施する。また、国が用意する「ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）」を用いることとした。

接種場所や接種の大まかな流れなどに関する考え方も示した。接種場所については、全国1500カ所の施設に2月までにディープフリーザーを配置し、その配置先を「基本型接種施設」として実施するほか、基本型接種施設から冷蔵でワクチンの移送を受ける近隣の「連携型接種施設」でも実施する。

接種場所についてはファイザーのワクチンを念頭に置いているため、他社のワクチンを念頭に接種体制を構築する必要が生じた場合は、別途考え方を示すとした。

体制構築に向けた準備の概略では、基本的な考え方や関係者の役割・関係構築について説明。医療従事者等の範囲は病院や診療所の職員だけでなく、救急隊員などの地方自治体職員なども含まれ、広域的視点に基づく対応が求められるため、医療従事者等への接種体制の構築は都道府県が中心となって行うとした。

具体的には、都道府県は市町村や医療関係団体などの関係機関と連携し、「接種施設の確保」と「接種対象者の特定」を行う必要があると記載した。また、都道府県は全体像を把握し進捗を管理するため、医療従事者等への接種に関する計画書を作成するとしたほか、接種に向けた具体的な作業と期限の項目についても示した。

（令和3年1月15日）

■指定感染症経過後は新型インフル類型 — 感染症部会 —

厚生労働省の厚生科学審議会感染症部会が1月15日におおむね了承した、感染症法・検疫法の見直し案には、新型コロナウイルス感染症について、政令指定期限（感染症法は2022年1月31日、検疫法は22年2月13日）の経過後は感染症法の「新型インフルエンザ等感染症」の類型に追加することも入れた。「再興型コロナウイルス感染症」も追加する。

新型コロナ感染症は、指定感染症の指定の1年延長を決めたばかりだが、再延長はできないため、その後の位置付けを検討する必要がある。

厚労省は、感染力や罹患した場合の重篤性に鑑み、「新型コロナ対策として実施している措置」と、「1～5類感染症や、新型インフル等感染症の類型で取り得る措置」を比較。医療資源を重症化リスクのある人に重点化するなど柔軟な対応ができる方策も必要とし、新型インフルエンザ等感染症に位置付けることを提案した。

議論では多くの委員が賛同した。ただ、日本医師会の釜范敏常任理事は「方針に基本的には賛成する」としつつも、新型コロナと新型インフルには大きな違いがあるとし、新型コロナは独自の категория で扱うことがより望ましいとの見方を示した。

正林督章健康局長は席上、「新型インフルと、今回のコロナが全く一緒ではないと思っているが、新型インフル感染症は一部の措置を政令でやめたり行ったりできる。仮に法案が通れば、政令で工夫しながら、今のコロナに合った運用を考えたい」と発言した。（令和3年1月19日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

第25回歩こう会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今年度も開催しないことが決定しましたのでお知らせします。

保健事業のご案内

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）
※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

＜宮崎市郡医師会病院 健診センター＞

令和3年	2月21日・3月7日・3月14日
------	------------------

ご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。
自家健診についてご不明な点がございましたら、当組合までお問い合わせください。

特定保健指導

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

※自己負担はありません。

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

国民年金基金 のご案内

日本医師・従業員支部

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部は、
「日本医師会」を設立母体とする
日本医師・従業員国民年金基金が、
全国基金への統合に伴い移行した
医師・医療従事者のための職能型支部です。

不確実な将来に、今、備える



国民年金基金は、
国民年金(老齢基礎年金)に上乘せる
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～節税しながら老後に備える～

1 税制上の優遇措置

掛 金 掛金は全額社会保険料控除の対象となり所得税、住民税が軽減されます。
(最高816,000円/年が控除の対象)

年 金 受け取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

遺族一時金 遺族一時金は全額が非課税となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた「終身年金」が基本です。

税理士のご紹介で
加入されている方が
増えております。

3 ご家族及び従業員の方も加入可能

ご家族の掛金も社会保険料控除の対象となります。
従業員の雇用確保の観点でご活用されているケースもあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- 現在国民年金基金に加入していない方
- 「日本医師会年金」に加入されている方でも重複して加入できます。
- 厚生年金の被保険者は加入できません。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部

0120-700650
FAX 03-5976-2210

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-6-12 マグノリアビル2F

こちらから検索いただけます

日本医師従業員 0120-700650

ホームページ <https://www.jmpnpf.or.jp>



医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。



令和2年12月1日(火) 第15回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっている医療機関への財政支援要望について

受療行動の変化などにより疲弊している医療機関に対して財政支援を求めるもので、11月の定例県議会の開催に合わせ、県議会正副議長および県知事に要望書を提出することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について
 - ①HTLV-1母子感染対策協議会委員の推薦および就任について

→HTLV-1母子感染対策が適切かつ円滑に行われるために設置された協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、県医師会枠で嶋本理事、県産婦人科医枠で肥後貴史会長、県小児科医枠で高村一志会長を推薦することが承認された。
 - ②宮崎県母子保健運営協議会の委員の推薦および就任について

→母子保健事業の総合的、効果的な実施などを目的に設置される協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、県
3. 宮崎大学白菊会運営支援のお願いについて

白菊会は医学・医療の発展を願い解剖体を提供する篤志献体登録者の会で、運営資金に対する援助依頼があり、例年同様、県医師会員への募集案内などに協力することが承認された。
4. 医療保険のオンライン資格確認に関する会員への周知について

令和3年3月に運用が開始されるオンライン資格確認について、レセコンの改修費用などの補助が増額される加速化プランなどが示されたが、いまだに医療機関の関心が薄いことから、正しい情報を適切に伝えるべく、厚労省の担当者を講師とした研修会を企画することが承認された。
5. 県医師会健康スポーツ医学委員会の委員について

新たに宮崎市郡医師会病院産婦人科の明野慶子先生を委員として追加することが承認された。
6. JMAT研修 基本編およびロジスティクス編の開催について

災害への備えを十分なものとするとともに、災害発生時には関係医師会と協働による医療支援活動の充実に資することを目的に開催される研修会で、1/17(日)の基本編に池井常任理事が、3/21(日)のロジスティクス編に事務局が参加することが承認された。

医師会枠で濱田副会長、県産婦人科医枠で肥後貴史会長、県小児科医枠で高村一志会長を推薦することが承認された。

③宮崎県障がい者差別解消支援協議会委員の推薦および就任承諾について
→障がいのある人もない人もともに暮らしやすい宮崎県づくり条例に基づき設置される協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き山村副会長を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
 2. 11月末日現在の会員数について
 3. 11/27(金) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議について
 4. 11/30(月) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
 5. 11/27(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
 6. 11/28(土) (シーガイア) 九医連委員・九州各県役員合同協議会について
 7. 11/28(土) (シーガイア) 九州医師会総会・医学会について
 8. 11/29(日) (シーガイア) 九医学分科会について
 9. 12/1(火) (県医) 治験審査委員会について
- 医師連盟関係

(議決事項)

1. R3. 1/19(火) (日医) 日本医師連盟執行委員会(テレビ会議実施)開催について

主に令和元年度の収支決算、3年度の負担金基準額について協議する執行委員会で、日本医師連盟の執行委員である河野委員長と吉田常任執行委員が、テレビ会議により参加することが承認された。

令和2年12月8日(火) 第16回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. R3. 5/22(土) (宮観ホテル) 講師派遣依頼について

県柔道整復師会から、会員の資質向上を目的に開催する学会の特別講演講師の派遣依頼があり、先方の講師選定に関する要望を含め県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。

2. 令和3年度の特健康診査等の集合契約書に係る提案について

令和2年4月の診療報酬改定をふまえた委託料単価(基本的な健診項目8,690円, 貧血検査231円, 心電図検査1,430円, 眼底検査1,232円, 血清クレアチニンおよびeGFR 121円)で、令和3年4月1日の契約締結に向け準備を進めることが承認された。

(報告事項)

1. 12/7(月) (県防災庁舎) 県保険者協議会について
2. 12/4(金) 日医公衆衛生委員会について
3. 12/4(金) (県医) 産業医部会総会・研修会について

令和2年12月22日(火) 第11回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免2名(日医のみ)が承認された。
2. 令和2年度医療機関経営Webセミナーの開催について

医療経営に係る税制・税務の理解を深めることを目的とするセミナーで、今年度はWebシステムを利用して、日本医師会・宮崎県医師会・宮崎県医師協同組合・TKCの共催で開催することが承認された。
3. 後援・共催名義等使用許可について
 - ① R3. 7/31(土) (市民プラザ) 第9回呼吸療法勉強会の後援について

→呼吸療法に携わる医療従事者を対象に、質の高い呼吸管理と看護を目的に開催する勉強会で、名義後援を行うことが承認された。
 - ② R3. 2/7(日) 令和2年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義

後援について

→「未来予想図 人口減少から見えるもの～これからのケアマネジメントの未来予想図の検証～」をメインテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県指定難病審査委員の推薦および就任について

→支給申請などの医学的審査を行う会で、任期満了にともない神経内科および皮膚科領域の推薦依頼があり、現職および専門分科医会の意向を確認し推薦作業を進めることが承認された。

5. R3.1/14(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

2 医療機関を対象に行われる個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。また、保険指導医の都合による指導計画の変更が報告され、保険指導医の人材確保についても引き続き協力していくこととなった。

6. 国保審査委員の推薦について【再】

11/24の常任理事協議会で協議された事項で、選任基準の定めによりあらためて全理事協議会の確認を行い、保険医代表15名、保険者代表14名、欠員にともなう公益代表候補2名を推薦することが承認された。

7. 社保審査委員の推薦について

谷口浩先生の辞任にともない、県精神科医会に確認したうえで、井上雅文先生を推薦することが承認された。

8. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「医事法関係検討委員会」に濱田副会長を委員として委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

9. R3.2/2(火)令和2年度第2回各郡市医師会長協議会の開催について

都道府県医師会長会議(1/19)の報告などを中心に開催する協議会で、当日のスケジュールなどの確認が行われ、各郡市医師会に案内するとともに提出議題などを照会することが承認された。

10. R3.5/3(月・祝日)・4(火・祝日) 第4回全国医師ゴルフ選手権大会について

日本医師会と全国医師協同組合連合会が共催する選手権大会で、昨年開催した本会の親善ゴルフ大会の成績を参考に、チャンピオン戦の出場者2名を選抜することが承認された。

11. 業務委託について

①小児在宅医療を担う人材の養成などに関する業務の委託契約について

→医療的ケア児などが地域で安心して暮らすことを目的に、専門知識取得および人材養成のための講習会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

12. R3.2/4(木)第42回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方などを検討することを目的に開催される全国会議で、今回はWeb会議(Zoom)を用いて県医師会館で瀬ノ口常任理事が参加することおよび県内4か所の地域産業保健センターに案内することが承認された。

13. 県医師会健康スポーツ医学委員会の委員について【再】

12/1の常任理事協議会で一部協議された事項で、県医師会委員会規程の定めによりあらためて全理事協議会の確認を行い、宮崎市郡医師会病院の明野慶子先生、山崎歯科クリニックの山崎和幸先生を委員として追加することが承認された。

14. 第34回宮崎県医師会医学賞の推薦について

県医師会医学賞選考委員会が推薦する「問診で得られた排尿のための第一覚醒時間の有用性 外来患者における夜間頻尿と睡眠習慣の聞き取り調査」村岡敬介先生（第43巻第2号）と「過去20年の総合周産期母子医療センターにおける産科症例の変遷」川越靖之先生他（第43巻第2号）を医学賞とすることが承認された。

15. 九医連関係行事について

① R 3.1 /23(土)九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会および第5回九州ブロック災害医療研修会の開催方法の変更について

→新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりWeb会議（Zoom）に変更し、九州各県医師会館と日本医師会館を結び開催することが報告され、山村副会長と池井常任理事が責任者となり、提出議題への回答と当日の進行を担当することが承認された。

② R 3.2 /13(土)九州医師会連合会第389回常任委員会並びに令和2年度第2回各種協議会の開催について

→新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりWeb会議（Zoom）に変更し、九州各県医師会館と日本医師会館を結び開催することが報告された。

また、常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、役員で提出議題などがあれば、事務局を経由して河野会長に届け出ることとなった。

各種協議会については、地域医療対策が濱田副会長と金丸常任理事、医療保険対策が山村副会長と小牧常任理事、介護保険対策が石川常任理事と瀬ノ口常任理事が責任者となり、提出議題への回答と当日の進行を担当するこ

とが承認され、出席者については後日事務局から照会することとなった。

16. 1・2月の行事予定について

役員会を含めた1月および2月の行事予定が承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について**

2. 12/9(水) (支払基金) 支払基金幹事会について

3. 12/15(火) (県医) 日医理事会について

4. 12/16(水) (県医) 県スポーツメディカルランドみやざき検討委員会（仮称）について

5. 12/17(木) (県医) 日医学術推進会議について

6. 12/17(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の個別指導について

7. 12/9(水) (JA-AZM) 保育支援事業スキルアップ研修会について

8. 12/11(金)・16(水) (県医) 広報委員会について

9. 12/22(火) (県防災庁舎) 県個人情報保護審議会について

10. 12/11(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について

11. 12/11(金) (日医) 日医勤務医委員会について

12. 12/12(土) (県医) 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）について

13. 12/17(木) (県総合保健センター) 県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会について

14. 12/9(水) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会について

15. 12/16(水) (日医) 日医地域包括ケア推進委員会について

16. 12/10(木) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

17. 11/26(木) (県庁) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

18. 12/7(月) (県医) 高次脳機能障がい講演会について

19. 11/25(水) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
20. 11/30(月) (県医) 医学賞選考委員会について
21. 12/5(土) (県医) 日医家族計画・母体保護法指導者講習会について
22. 12/7(月) (県医) 県との妊婦健診等に関する協議会について
23. 12/9(水) (県医) 宮崎市との妊婦健診等に関する協議会について
- 医師協同組合理事・運営委員合同協議会(報告事項)
1. 12/22(火) (県医) 医協理事会について

医師資格証を持ちましょう

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

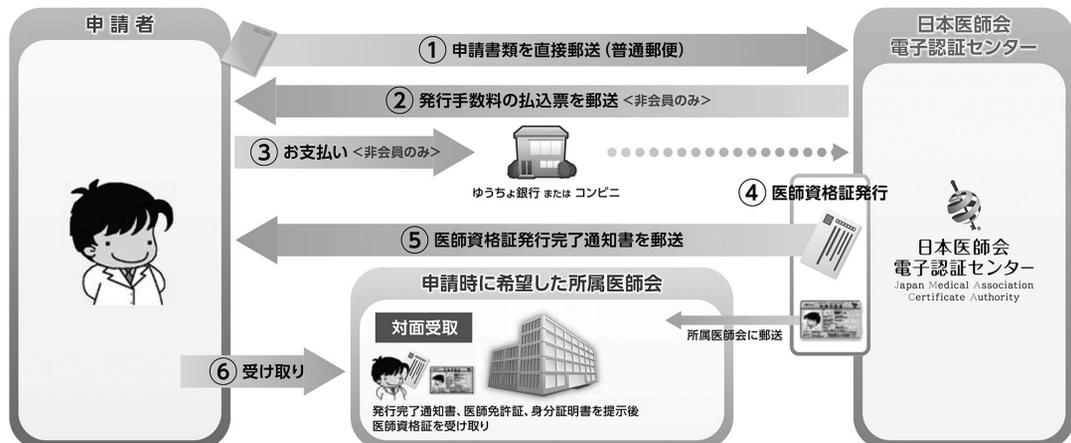
申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証申請方法



県 医 の 動 き

(1月)

4	仕事始め式 (会長)		
5	治験審査委員会 (荒木常任理事他) 第17回常任理事協議会 (会長他)	20	県・市町村との妊婦健診等に関する協議会 (Web会議) (嶋本理事) 県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (濱田副会長)
7	日医定款・諸規程検討委員会 (Web会議) (小牧常任理事) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (濱田副会長他) 新型コロナウイルス感染症に関する県知 事記者会見 (会長) 臨時各郡市医師会長協議会 (Web会議) (会長他)	21	医師国保組合理事会 (秦理事長他)
8	新型コロナウイルス感染症に関する共同 記者会見 (会長)	22	県外科医会理事会 (Web会議) (岩村理事)
12	第18回常任理事協議会 (会長他)	23	九州ブロック災害医療研修会 (Web会議) (会長他) 九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会 (Web会議) (山村副会長他)
13	日医未来医師会ビジョン委員会 (Web会議) (大塚理事)	25	広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)
14	全国有床診療所連絡協議会講演会 (Web 会議) (会長) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本理事他)	26	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (※ 中止) (嶋本理事) 医協理事会 (河野理事長他) 第12回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野委員長他) 母体保護法指定医師審査委員会 (濱田副会長他)
15	広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)	27	宮大経営協議会・学長選考会議 (Web会議) (会長) 労災診療指導委員会 (川野理事)
16	県がん診療連携協議会 5 専門部会合同研 修会 (Web会議) (石川常任理事)	29	県認知症高齢者グループホーム連絡協議 会理事会 (Web会議) (石川常任理事) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (Web会議) (峰松理事) オンライン資格確認に関する説明会 (TV 会議・Web会議) (会長他)
17	日医JMAT研修 (基本編) (Web会議) (池井常任理事) 宮崎JRAT研修会 (Web会議)	30	県産婦人科医会冬期総会 (Web会議) (嶋本理事他)
18	都道府県医師会新型コロナウイルス感染 症担当理事連絡協議会 (日医TV会議) (濱田副会長他)		
19	日医理事打合会 (日医TV会議) (会長) 日医理事会 (日医TV会議) (会長) 都道府県医師会長会議 (日医TV会議) (会長) 日医連執行委員会 (日医TV会議) (河野委員長他)		

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年1月4日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 7人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	3	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	1	0	1

2. 斡旋成立件数 78人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	4	0	4
平成16年度から累計	57	21	78

3. 求人登録 98件 352人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	105	82	23	消化器外科	3	2	1
外科	28	23	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	352	279	73

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
230207	介護老人保健施設 みどりの丘	日南市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年1月4日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年1月27日

2		月			
1	月	19:00 健康スポーツ医学セミナー(Web会議)	15 月	14:00 県情報化推進有識者会議 16:00 県地域医療対策協議会 19:00 介護保険に関する主治医研修会(Web会議)	
2	火	17:30 治験審査委員会 (Web会議) 18:30 第13回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会		16 火	13:00 日医理事打合会 (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議) 17:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会(Web会議)
3	水				17 水
4	木	13:00 産業保健活動推進全国会議 (Web会議) 13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会 14:00 日医学術推進会議 (日医TV会議) 19:00 医師協同組合事業承継セミナー (Web会議)	18 木	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	↑ ↑ 国 保 社 審 保 査 審 ↓ 査 ↓
		5	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議) 19:00 医師国保組合定例事務監査	
6	土		20 土		
7	日	13:00 日医医療秘書認定試験	21 日		
8	月	14:00 県献血推進協議会 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ (Web会議)	22 月	14:00 宮大医学部医の倫理委員会	
		9	火	19:00 第19回常任理事協議会	23 火
10	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会 (Web会議)	24 水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
		11	木	(建国記念の日)	25 木
12	金	15:00 日医共同利用施設検討委員会	13 土	14:00 九医連常任委員会 (Web会議) 15:00 九医連各種協議会 (Web会議)	
14	日	11:00 全国有床診療所連絡協議会常任理事会 (Web会議) 13:00 レジナビFairオンライン臨床研修プログラム		26 金	15:00 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会 18:30 県外科医会冬期講演会 (Web会議) 19:00 医師国保組合理事会
		13	土		27 土
14	日		28 日	13:00 日医母子保健講習会 (Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年1月27日

3			月		
1	月	19:00 胃がん検診内視鏡検診従事者研修会 (Web会議)	15	月	18:30 県公害健康被害認定審査会 19:00 広報委員会 (Web会議)
2	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第20回常任理事協議会	16	火	13:00 (日医) 日医理事打合せ 14:00 (日医) 日医理事会
3	水	14:30 全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会 19:00 医学会誌編集委員会 (Web会議)	17	水	19:00 県医医学会役員会 (Web会議)
4	木		18	木	13:30 全国国保組合協会通常総会 宮大経営協議会・学長選考会議 15:00 県看護協会新人看護職員研修推進協議会
5	金	(福岡) 全国国保組合協会九州支部総会	19	金	
6	土	14:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議)	20	土	(春分の日)
			21	日	
7	日	10:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議)	22	月	19:00 広報委員会 (Web会議)
8	月	19:00 医師国保組合通常組合会 19:00 緩和ケアチーム研修会 (Web会議)	23	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 第21回常任理事協議会
9	火	19:00 第3回理事会	24	水	15:00 労災診療指導委員会
10	水	16:00 支払基金幹事会	25	木	
11	木	19:30 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	26	金	19:00 県外科医会理事会
12	金		27	土	
13	土	13:30 臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議)	28	日	
			29	月	
14	日		30	火	
			31	水	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 2月1日(月) 18:45~20:15 前橋テルサ ※受講はWebのみ	近年の循環器トピックス ～糖尿病合併の心不全治療を含めて～ 群馬大学医学部附属病院 循環器内科 病院講師 高間 典明	23 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 ※日本ベーリンガー インゲルハイム(株) ☎0985-26-9363 日本イーライリリー(株)
宮崎県医師会健康スポーツ医学セミナー (Web講習会) 2月1日(月) 19:00~20:10 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	新型コロナウイルス感染症とスポーツ 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野 教授 岡山 昭彦 他	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
日向市東臼杵郡医師会学術講演会/日向入郷地区骨粗鬆症講演会 (Web講習会) 2月3日(水) 19:00~20:10 ホテルベルフォー ト日向 ※受講は現地またはWeb	骨粗鬆症治療の基礎と臨床 埼玉医科大学 整形外科・脊椎外科 准教授 田中 伸哉 ----- 骨粗鬆症患者の連携について 日向市立東郷病院 院長 山田 強一	77 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 アステラス製薬(株) アムジェン(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 2月3日(水) 19:00~20:00 アストラゼネカ株 式会社小倉分室 ※受講はWebのみ	高齢者の喘息・COPD・ACOの診断と治療 産業医科大学医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博	45 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 宮崎県内科医会 アストラゼネカ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 2月4日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 2月5日(金) 19:00~20:00 エンシティホテル 延岡 ※受講はWebのみ	肝臓がんを防ぐために、ウイルス肝炎の最新治療 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター センター長 永田 賢治	12 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ギリアド・サイエンシズ(株) 宮崎大学医学部附属 病院肝疾患センター (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第20回認知症サポ ート医・かかりつ け医スキルアップ 研修会 (Web講習会) 2月5日(金) 19:00~21:00 県医師会館2階研 修室 ※受講はWebのみ	シークエンス解析を行った家族性前頭側頭型認知症の 1症例 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆 ----- 超後期高齢者(90歳以上)の認知症診断を考える 大悟病院 認知症疾患医療センター センター長 三山 吉夫 ----- 認知症と自動車運転 ~医療従事者として望ましい対応とは~ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	29 (1.0) 29 (0.5) 29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第4回九州・山口 胎児心臓研究会in 宮崎 (Web講習会) 2月6日(土) 14:00~17:00 宮崎市 ※受講はWebのみ 参加費:1,000円	Tricifyを用いた胎児超音波検査の遠隔診断サポートの 試み 宮崎大学医学部 産婦人科 助教 藤崎 碧	12 (0.5)	◇主催 九州・山口胎児心臓研究会 (連絡先) GEヘルスケアジャパン(株) ☎070-1597-7165
	他		
	きれいな四腔断面の出し方 福岡市立こども病院 胎児循環器科 漢 伸彦	1 (0.5)	
	見逃されそうだけれども4CVで変化に気付きたい心疾患 鹿児島大学医学部 産科婦人科 助教 新谷 光央	71 (0.5)	
	四腔断面の異常を来す胎児心疾患と診断のポイント 九州大学病院 小児科 助教 永田 弾	72 (1.0)	
第192回宮崎県眼科 医会講習会 2月6日(土) 16:30~19:00 宮崎観光ホテル西 館8階ブリリアン トホール 参加費:3,000円	どげんかせんといかん, 緑内障点眼薬選択 原眼科病院 院長 原 岳	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	ゲノム医療の最前線 ~網膜ジストロフィから滲出性加齢黄斑変性まで~ 名古屋大学医学系研究科 眼科学 教授 西口 康二	36 (1.0)	
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 2月8日(月) 19:00~20:30 第一三共株式会社 九州支店佐賀営業所 ※受講はWebのみ	心不全合併の心房細動診療 佐賀大学医学部 内科学講座 主任教授 野出 孝一	1 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 第一三共(株)
		43 (0.5)	
		45 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県皮膚科医学会 学術講演会 (Web講習会) 2月12日(金) 19:15~20:30 長崎大学病院 ※受講はWebのみ	発汗異常の臨床：無汗症から多汗症を中心に 長崎大学 医歯薬学総合研究科皮膚病態学 教授 室田 浩之	43 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医学会 ◇共催 ※科研製薬(株) ☎080-5983-0935
令和2年度介護保 険に関する主治医 研修会 (Web講習会) 2月15日(月) 19:00~22:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	主治医意見書における認知症判断 若草病院 院長 白土 俊明	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	心不全・大腿骨頸部骨折・認知症を中心とした多種疾患 にちなんファミリークリニック 院長 飛松 正樹	80 (0.5)	
	末期がん患者の主治医意見書 宮崎ホームケアクリニック 院長 長澤 伸二	81 (0.5)	
	総合討論 クリニックうしたに 院長 牛谷 義秀 他	80 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 2月16日(火) 14:00~16:00 県医師会館	生活支援機器，リハビリ支援機器等の安全性に関する 配慮について 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 岡部 康平 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (0.5) 14 (0.5) 60 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月18日(木) 14:00~16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 17 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月18日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第13回在宅医療実 践のための多職種 協働研修会 (Web講習会) 2月18日(木) 19:00~20:30 宮崎看護専門学校 3階情報処理室 ※受講はWebのみ	在宅での看取り 訪問看護ステーションハピネス 看護師 谷口 寛子	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
宮崎県医師会産業 医研修会 2月19日(金) 19:00~21:00 県医師会館	精神科産業医から見た定期健康診断の重要性(Ⅱ) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会創立 132周年記念医学会 (Web講習会) 2月25日(木) 19:00~20:15 県医師会館2階研 修室 ※受講はWebのみ	モレル・ラバリー病変(Morel-Lavallée lesion)のMRI 診断 JCHO宮崎江南病院 健康管理センター センター長 杜若 陽祐 他	12 (0.5) 65 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
令和2年度宮崎県 外科医会冬季講演 会(日本臨床外科 学会地方会) (Web講習会) 2月26日(金) 18:30~20:30 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	十二指腸潰瘍癒痕狭窄に起因する食道破裂による敗血 症性ショック外科的一救命例 宮崎大学医学部 外科学講座 内勢 由佳子 他	15 (2.0)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100
令和2年度胃がん 検診内視鏡検診従 事者研修会 (Web講習会) 3月1日(月) 19:00~20:40 県医師会館2階研 修室 ※受講はWebのみ	胃がん検診内視鏡検診について(仮) 宮崎大学医学部附属病院 消化器内科 副科長 稲津 東彦	11 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
宮崎市郡医師会産 業医研修会 3月13日(土) 14:30~16:30 宮崎市郡医師会館 1階講堂	コミュニケーション力アップで職場を円滑に回す・夢 を叶える 串間市民病院 病院長 江藤 敏治 基礎研修の現地研修会: 2単位 生涯研修の現地研修会: 2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 4 (0.5) 5 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 3月15日(月) 19:00~20:00 小林市地域・観光交流 センター「KITTO小林」 ※受講は現地また はWeb	SGLT2阻害薬を用いた心不全治療 ~DAPA HFを理解して臨床に活かす~ 大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋 尚彦	19 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株)
第64回宮崎県スポ ーツ学会 3月27日(土) 15:00~19:00 県医師会館 参加費:1,000円	オーバーヘッドアスリートの肩肘障害に対する予防と 治療戦略 昭和大学 保健医療学研究科 教授 西中 直也	10 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
第4回宮崎外傷研 究会 3月29日(月) 18:30~20:00 宮崎大学医学部附属病 院臨床講義室205教室 参加費:500円	多発外傷患者の骨折におけるダメージコントロールの 適応と私の治療戦略~血清乳酸値を中心に~ 立正佼成会附属佼成病院 手術部長 大畑 徹也	10 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎外傷研修会 ◇共催 アステラス製薬(株) 科研製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

診療メモ



子どものおもちゃと傷害予防

宮崎県立宮崎病院 小児科 おお ひら とも こ
大 平 智 子

1. はじめに

不慮の事故で亡くなる子どもは少なくなく、子どもの傷害（事故）は大事な社会問題の一つです。おもちゃによる重大な事故例もみられますので、今回どのようなもので発生するのか、どうやったら防ぐことができるのかといったことについてご紹介させていただきます。

2. 年齢別による危険性

子どもは日々成長・発達し、昨日はできなかったことが今日はできるようになります。傷害予防に取り組むときには、子どもの年齢で起こりやすい傷害を知る必要があります。

<0-3歳（おもちゃの大きさに注意）>

子どもは生後5~6か月になると手にしたものを何でも口に運ぶようになります。3歳児の口の大きさは直径約4cmです。これより小さく、子どもの口の中に入るものは何でも誤嚥や窒息の原因になる可能性があります。スーパーボールなどの6~20mmの大きさのおもちゃは、子どもが口に入れると、のどに詰まらせやすく窒息のおそれがあります。日本小児科学会のInjury Alert（傷害速報）では、3歳9か月男児や1歳8か月女児がスーパーボールによる窒息で亡くなった事例が記載されています（Injury Alert No.03, No.011の類似例1）。

<3歳-小学生（外で遊ぶおもちゃに注意）>

3歳以上になると、行動範囲が広がるため、傷害の種類が多様になります。家の中だけでなく公園など戸外での事故にも注意が必

要です。

• 遊具からの転落

遊具からの転落で大腿骨などを骨折した事例もあります（Injury Alert.No.027, No.029）。また服のひもや水筒のひもが首に絡まって窒息した事例もありますので、持ち物にも注意が必要です。

• ペダルなし二輪遊具、キックスクーターなどでの転倒

ペダルなし二輪遊具は、自転車に乗る前の幼児がバランス感覚を養える遊具として人気です。ただし、ペダルがなく、ブレーキもないものがほとんどのため、思わぬ転倒等による事故が増加傾向にあります。「ヘルメットを着用する」、「坂道では乗らない」などを徹底しましょう。転倒や接触による使用者自身の事故だけではなく、歩行者に危害を与える報告もあります（Injury Alert, No.38）。また5歳男児がキックスクーター使用中に転倒し、ハンドル部分で前頸部を強打し、気管の不全断裂をきたした症例（Injury Alert No.51）もあります。

3. 事故予防に関する基本的な考え方とおもちゃ窒息予防

<効果的な事故予防：3E>

3Eとは、Environment（環境改善）、Education（教育）、Enforcement（法律・基準）のことで事故予防アプローチの3原則です。事故が起こった際に「親の責任」、「親の不注意」と指摘されることがありますが、「目を離さない

ように」と注意することだけでは、次の傷害予防にはつながりません。目を離してもよい環境づくりや商品づくり、制度づくりが何より重要です。

表1：予防効果のある3Eと予防効果のない3I

	3E's 有効な事故予防 E: Effective	3I's 無理な事故予防 I: Ineffective
取りうる、もしくは、現在取られているアプローチ	Environment (環境改善) 転倒時湯漏れ防止機能付き電気ケトル、ヘルメット着用など	Individual (個人責任) 学校や園、保護者の責任とする
	Education (教育) 環境改善を促す教育、定量的な情報提供、ツールの使い方教育	Impossible (実行不可能) 「目を離さない」ことに頼る見守り
	Enforcement (法律・基準) シートベルト装着、飲酒運転禁止、自転車チャイルドシートなど	Instant (即時的・その場しのぎ) 周知徹底、謝罪、follow up不在、騒いで忘れる

＜おもちゃによる窒息事故を防ぐには？＞

子どもの口に入る大きさ（直径約4cm未満）のものを、子どもの手の届く範囲に置かないようにしましょう。図1のように、トイレトペーパーの芯や誤飲チェッカーを利用し、それに入る大きさのおもちゃは飲み込む危険性があるので注意が必要です。

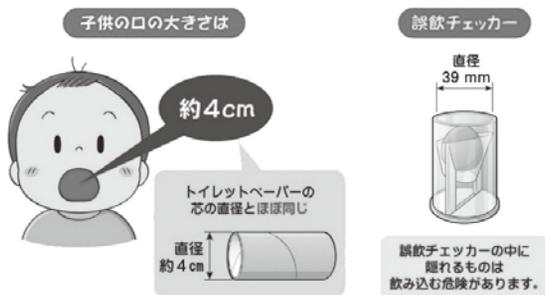


図1：子どもの口の大きさと誤飲チェッカー（参考文献1より）

4. 最近のトピックス

世の中には面白い新商品が次々と売り出されます。商品が流行ると傷害も発生します。ここでは、最近私が気になっている事例を2つご紹介します。

＜複数個の磁石誤飲による消化管穿孔＞

マグネットボールによる消化管穿孔が多発しています。マグネットボール（3 - 5 mm 大の200個以上の球状磁石からなる玩具）

は、立体パズルとしてさまざまな形をつくらせて遊ぶ玩具です。ネオジウムを主成分とする磁石で、従来の鉄成分磁石の10倍以上の磁力を持っています。1個なら問題ないのですが、複数個誤飲してしまい、間に腸管壁をはさんだ状態になると、消化管穿孔、閉塞、捻転などが起こり、最悪の場合は生死にかかわることになってしまいます（Injury Alert. No.66）。

＜カプセル入りスポンジ玩具による腔内異物＞

カプセル入りスポンジ玩具は、ゼラチンでできた小さなカプセル（約22mm×8mm）の中にスポンジが圧縮されて入っており、水やぬるま湯にカプセルをつけるとゼラチンが溶けて、中の恐竜、果物、動物などの形をしたスポンジが出てくる玩具です。100円で12個入りという商品で、安く楽しい商品です。入浴中、保護者の知らない間に腔に入った事例が2例（4歳女兒と5歳女兒）ありました（Injury Alert, No.94）。入浴中に当該玩具で遊ぶときには、遊んだカプセルの個数と出てきたスポンジの個数が同じであるか大人が確認しましょう。

5. 最後に

今回は、子どものおもちゃに関する傷害事例とその予防にご紹介しました。子どもの傷害は、周囲の大人たちが、子どもの身の回りの環境にちょっとした注意を払い、対策を立てることで、防げる事故があります。子どもたちが安心・安全に暮らし成長していくために、少しでも役に立てると幸いです。

参考文献

- 1) 政府広報オンライン、
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201809/2.html>
- 2) 西田佳史ら、見かけ上の固定問題を「変えられる化」する 小児内科Vol.46 No.11 2014 p1699-1705
- 3) 日本小児科学会, Injury Alert (傷害速報)
<https://www.jpeds.or.jp/modules/injuryalert/>

QRコード



宮大医学部学生のページ



「ALL TSUNO」での学び

宮崎大学医学部 医学科5年 ^め ^ら ^{たい} ^が 米 良 大 雅

私は現在、今年度から始まった都農長期滞在型地域医療実習というプログラムの実習生第一号として実習させていただいています。3か月の実習期間のうち、1月の時点で2か月が経過しました。生活も実習もすべて都農町で行う「ALL TSUNO」の長期実習(LIC)で、今学んでいることをご報告させていただきます。

LICでは都農町国民保険病院で外来・救急診療、病棟診療、在宅医療、そして地域の保健福祉活動を学びます。医療活動に関しては、医学生に許された範囲で先生方の指導のもと、患者さんと接する機会をいただいています。外来では問診・診察・治療方針の立案・検査オーダー・説明・必要に応じて再診の予約まで、救急では初期対応に参加して、今後の方針(帰宅・入院・転院)を先生方とディスカッション、病棟診療では診察から今後の治療方針の立案・退院後のフォローまでと、非常に多くのことを学ばせていただいています。

LICは緊張と発見が絶えない実習です。医学を知っていることと、実際に動くことができることは全く違うことを改めて実感しました。症候の鑑別は挙げられるが、鑑別を進めるためにその頻度や緊急性の軸を想起できず、どういふうに患者さんから情報を集めるのかが分かりませんでした。病態の安定以外に病棟管理では

必要なこと(リハビリ・食事の開始、退院調整など)をどのように実行に移せばよいか分かりませんでした。毎日が分からないことであふれていました。分からないことに出会うたびに自分なりに考えて、調べて、先生方や看護師さんに相談して、そして患者さんと向き合いました。自分の不勉強を実感しつつ、不安で緊張しながら、できることを考えていきました。

そうして都農町の地域医療に長く触れることで、地域医療とは何かを自分なりに考えることができました。地域医療は患者さんとの関係のあり方だと私は考えています。疾患の管理に限らず、疾患を介して患者さんの生活がどのように変化して、どのような助けが必要になるのかを、看護師・セラピスト・MSW・ケアマネジャー・患者さん本人・病院・役場との連携を介しさまざまな視点から、地域の医療資源をふまえて考えていく過程が大切であると学びました。一人の「生活を営む人」として患者さんを診る視点・姿勢が、そのまま地域医療に繋がるのではないかと考えています。この過程を実際に動きながら学生のうちに学ぶことができたのは、何事にも代えがたい貴重な経験です。

しかし、この地域医療に対する考えもおそらく変わっていきます。まだ私には学習も経験も足りません。これからの医療に全力で向き合っ

て、より具体的に自分なりの地域医療像と其中での立ち位置を考えていきます。LICは私と地域医療の向き合い方について教えてくれました。この実習を行うにあたって、都農病院の方

々、都農町役場の方々、吉村先生を始めとする地域医療学講座の方々、そして患者さんと本当に多くの人に支えられています。感謝を忘れずに残りわずかの実習に臨んでいきます。



担当症例レクチャーの様子



施設回診の様子



手技実践（胃管挿入）の様子



予防接種練習の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療・検査医療機関の受診時における被保険者資格証明書の取扱いについて ・石綿含有製品等の製造，輸入，譲渡，提供又は使用の禁止の徹底について ・新型コロナウイルス感染症の対応に伴う診療制限について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて ・年末年始に向けた医療提供体制の確保に関する対応について ・職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防，健康管理の強化について ・地域の医療機関向けのマニュアルの送付について（HER-SYS関係）
12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン資格確認等システム導入に関する「医療情報化支援基金における追加補助に関するお知らせ」及び「システム事業者の不適切対応事例の収集」について ・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度加入状況について ・宮崎県公安委員会提出用診断書様式の改正のお知らせ ・経口抗真菌剤『イトラコナゾール錠50「MEEK」』の自主回収（クラスI）について ・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について
12月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に関する検査の検体採取動画の公開について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正について ・「『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2020年12月3日Ver.5）』の周知について（依頼）」の送付について
12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度在宅看取りに関する研修事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について ・令和3年就労条件総合調査の実施についての協力依頼について ・医療事故の再発防止に向けた提言第12号の公表について
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・検査料の点数の取扱いについて ・材料価格基準の一部改正等について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4版」の周知について ・年末年始の新型コロナウイルス感染症の検査体制等について ・新型コロナウイルス感染症患者受け入れ医療機関の支援に関する総合相談ダイヤルの設置について

送付日	文 書 名
12月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設における感染拡大防止対策の再徹底について ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部改正等について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その45）」の送付について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（オプジーボ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの改訂等に伴う留意事項の一部改正について ・看護師等業務従事者届についてのご協力をお願い
12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月勤労統計調査（第二種事業所）への調査協力依頼について
12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関，高齢者施設等の検査について ・「寒冷な場面における感染防止対策の徹底等について」及び「冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気方法」について
12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者災害補償保険診療費等に係る帳票の切り替え対応について ・オンライン資格確認等システム利用申請の書面での申請受付について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その31）
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の患者数増加に備えた人工呼吸器等消耗品の医療機関への無償配布について ・予防接種法及び検疫法の一部を改正する法律等の施行について ・新型コロナウイルス感染症におけるレムデシビル製剤の年末年始に係る各医療機関への配分について ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための特別児童扶養手当等業務における対応について ・宮崎県肝疾患診療ネットワークの肝疾患専門・協力医療機関指定更新に係る調査及び指定申請書の提出について ・ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について ・年末年始に向けた医療提供体制の確保に係る診療時間等の変更に関する医療法上の取扱いについて
12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について ・新型コロナウイルス感染症の院内感染によりクラスターが発生した医療機関等への財政的な支援及び医師・看護師等派遣の支援について ・新型コロナウイルス感染症に関する自費検査に係る調査への協力について ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施に当たっての取扱いについて

送付日	文 書 名
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設等への布製マスクの配布希望の申出について ・令和3年度介護報酬改定率について ・新型コロナウイルスワクチンの接種費用について ・令和2年12月16日からの大雪による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その46）」の送付について ・「使用上の注意」の改訂について ・「〔特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について〕等の一部改正について」等の一部訂正について
12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人医療関連サービス振興会「第30回シンポジウム」ご案内の送付について ・「医療関連サービスマーク認定事業者・施設データブック2021年版」の送付について ・新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築について ・新型コロナウイルス感染症に関する自費検査を提供する検査機関について ・令和2年12月16日からの大雪による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施手引き（初版）について ・第三次補正予算等を活用した「新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関等への更なる支援」について
12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月16日からの大雪による災害による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届記載要領」の一部改正について ・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」に規定する介護保険法の一部改正について（補足） ・「医療機関における被虐待児童に関する病院へのアンケート調査」に対する協力について ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に関するQ&A（第10版）について（医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業）
12月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その47）」の送付について ・母子健康手帳の任意記載事項様式について ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の陽性者登録のお願いについて ・令和2年12月16日からの大雪による災害にかかる予防接種の取扱いについて ・介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等について ・救急の日に関するアンケート調査2020の結果について ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について

送付日	文 書 名
12月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学校協議会「教務主任養成講習会」のご案内 ・令和2年7月豪雨による災害に伴う被災者に係る被保険者証等の提示について（令和3年1月1日以降の取扱い） ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その8） ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引きについて ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について ・医療用医薬品の供給不足に係る適切な情報提供について ・令和2年度がん教育外部講師研修会・シンポジウムについて ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その9） ・介護保険サービス従事者向けの感染対策に関する研修（その2）および（その3）について ・令和3年度介護報酬改定に向けた社会保障審議会介護給付費分科会における審議報告の送付について

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

あとかき



大学1年の後期から現在まで予備校でアルバイトをしています。部活の先輩に紹介されて始めたこの仕事も気づけば4年目になりました。仕事といっても私自身が実際に授業をするわけではなく、映像授業を受講している生徒からの個別の質問受けや土日に実施する模試の準備、生徒との雑談?が主な業務になります。

宮崎県の高校生を見ていて驚いたのは日々の課題の多さです。特に公立高校では毎朝の課外学習や長期休みに行われる講習に積極的に参加する生徒が多く、それを教える先生もとても熱心だなと感じました。質問に来た生徒と問題を考える時間は意外と楽しく、要点を上手く伝えられたときや試験の結果が良かったと言ってもらえると、こちらまで嬉しくなります。

30年近く続いたセンター試験に代わって今回導入される大学入学共通テストでは、英語における筆記とリスニングの比率が同じになったほか、数学の試験時間の延長などいくつか変更点があるようです。今年の受験生の中には彼らが中学生の時から教えていた生徒も多く、受験に関するニュースを耳にするとこちらまでソワソワしてしまいます。感染拡大の影響で勉強する環境も変わり、世の中が混沌と動く中で将来の不安もたくさんあったと思います。1月から2月にかけて、共通テストや各大学の個別試験と受験生にとって緊張を強いられる日々が続くので、生徒たちが試験対策に全集中できるように、私もできる限りサポートしてあげたいです。

(河野(太))

* * * * *

明けましておめでとうございます。新年早々からCOVID-19感染者急増の報があり、いよいよこのウイルスとの戦いも佳境に入ってきたようです。COVID-19を媒介するのはヒトのみであり、感染拡大を阻止するにはヒト同士の接触を避けるしかなく、老若男女とも日常生活に高度の制限を余儀なくされています。歴史を振り返ると集団免疫の獲得には数年かかるとい説もありますが、欧米ではワクチン接種が始まっており、治療薬の研究開発も世界中で取り組まれています。1日も早く日常が、new normalの世界ではなく、自由で密なwithoutコロナの世界が訪れることを切に願いながら、今年も心を燃やして頑張りましょう。

(稲倉)

* * *

今年のプロ野球キャンプは無観客で行うことが決まりました。個人的には、東京五輪も無観客で開催する可能性が高いと思います。本県は、事前キャンプを目的に各国から選手を受け入れる予定なので、万全な五輪コロナ対策が必要です。今後接種が始まるコロナワクチンは唯一の希望の光です。そのうえ、旧医師会病院がコロナ専用病院として稼働すれば、これ以上ない万全な対策かと思います。人員確保が一番の問題ですが、他に対策案が思いつきません。

(植田)

* * *

最近のデータでは日本の薬の輸入額は年間約3兆6千億円、輸出額は5千億円で大幅な輸入超過です。以前より我が国の創業の基盤の弱さは問題視されていました。今回の新型コロナウイルスワクチンも輸入せざるを得ず、その金額は7千億円といわれています。安全保障上の観点からも国内でのワクチンの開発・製造に力を入れてもらいたいです。

(佐々木)

昨年から広報委員を拝命しZOOM編集会議を楽しんでおります。また今年は国保審査委員を任せられておりますが、公的な仕事を任せていただけるようになったと喜ぶべきか? コロナ感染の危険を冒して国保連合会ビルへ向かうのはやや気が重い、このチェック作業は遠隔でできないものなのだろうかなど、いらんことを考えるのもコロナ禍ならではの感慨だなと。いや、仕事はちゃんとやります。いろんな方向に向かって今年もよろしくお願いします。

(菊池)

* * *

例年、年末年始は鹿児島の実家で過ごすのが恒例でしたが、今年は移動自粛のため久しぶりに宮崎で年を越しました。家族4人ネコ一匹で、紅白を見ながら年越しそばを食べ、ゆく年くる年を見て年を越しました。結局例年とさほど変わりありませんでしたが、久しぶりに水平線(雲間)からの初日の出を拝むことができました。今年は、日の出のように明るい一年になるといいですね。

(長井)

* * *

昨年末は実家で過ごしました。毎年、年末年始に旅行に行くことが多いのですが、このご時世なのでなかなかそういうわけにもいきません。ですが、そのおかげで近所に住む祖父に何度も会いに行けましたし、お正月も一緒に過ごせて、祖父の手作りお節とお雑煮をいただきました。年始といえば課題付与式実習が始まって、実家にいるといつも朝はのんびりしているので、早起きして課題をしなければいけないという生活に慣れるのがなかなか大変でした。でも早起きは一日を有意義に使えて良いですね。

(木村)

今月のトピックス

メディアの目 コロナ禍で定着したローカルニュースの「新たな伝え方」

医療界でも、学会や講演会はWeb形式が当たり前になってきました。正直、なぜ今までそうしてこなかったのかと思えるほど、移動などの時間や費用の面でメリットが多くあります。テレビ界でも、インターネットライブ配信によって、地方局が自社制作番組を時間帯に関係なく放送できるようになったと、テレビ宮崎報道部部長の井上豊さんが語っておられます。コロナ禍だからこそ得られたものは、まだまだありそうです。

24ページ

診療メモ 子どものおもちゃと傷害予防

子どもたちにとって楽しさを与えてくれるおもちゃが、不慮の事故を招くリスクもあるということ。意外に知られていない事実を、宮崎県立宮崎病院 小児科 大平智子先生が、年齢やおもちゃの種類などから、分かりやすく教えていただいています。事故予防に関する基本的な考え方も教えていただいていますので、医療従事者だけではなく、幼児に関わる方々にぜひ一読していただきたい内容です。

64ページ

宮大医学部学生のページ 「ALL TSUNO」での学び

宮崎大学医学部 医学科 5年生の米良大雅さんは、都農長期滞在型地域医療実習の第一号実習生として、3か月間、生活も実習も都農町で行っています。地域医療を知識として理解していることと、実際に住人として感じ理解することは全く違うものです。実習生にとって、これから目指す医師像が大きく変わることは間違いないでしょう。とても素晴らしい実習を取り入れた宮崎大学医学部に、これからも期待しています。

66ページ

日 州 医 事 第858号(令和3年2月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地, 河野 真菜, 横山慎太郎, 木村 桃子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)